茨木市人権問題に関する市民意識調査

報告書

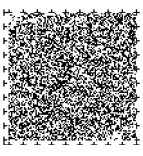
【概要版】



令和８年３月

茨木市

右のマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。



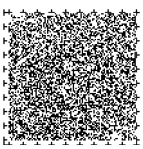
目次

I. 調査概要 1

1. 調査目的 1
2. 調査対象 1
3. 調査期間 1
4. 調査方法 1
5. 回収状況 1
6. 調査結果の表示方法 1
7. 回答者の属性 2

II. 調査結果 3

1. 人権問題や差別についての考え方について 3
2. さまざまな人権問題について 19
   (1) 女性の人権について 19
   (2) こどもの人権について 20
   (3) 高齢者の人権について 21
   (4) 障害者の人権について 22
   (5) 部落差別(同和問題)について 23
   (6) 外国人の人権について 26
   (7) インターネットにおける人権について 27
   (8) 性的マイノリティの人権について 28
   (9) その他の人権問題について 29



Ⅰ. 調査概要

1. 調査目的

社会の情勢の変化や、人権をとりまく環境の変化に対応していくため、人権問題に関するご意見・お考えをお尋ねし、「第3次茨木市人権施策推進計画」の策定の基礎資料とすることを目的として、調査を実施しました。

2. 調査対象

茨木市在住の 18 歳以上の方の中から 2,000 人を無作為抽出

3. 調査期間

令和 7 年 11 月 10 日から令和 7 年 11 月 28 日

4. 調査方法

郵送による配布・回収
インターネットによる回答

5. 回収状況

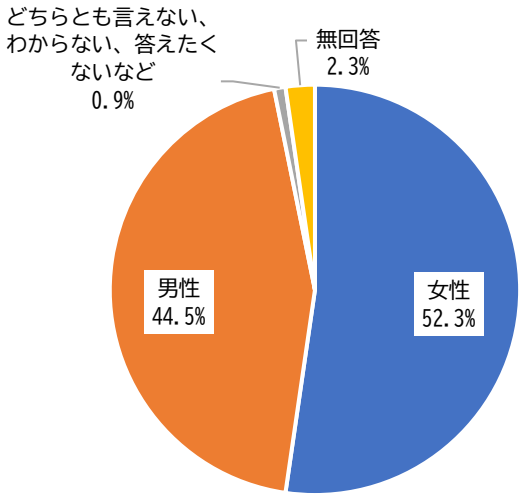
配　布　数	有効回答数	有効回答率
2,000 通	977 通	48.9%

6. 調査結果の表示方法

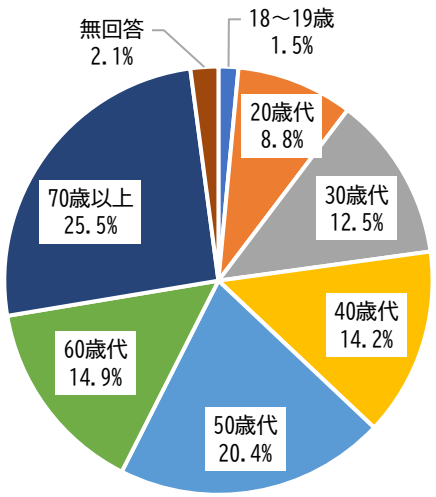
・回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・各図表の項目名については、判読しやすさを優先し、設問文の一部を要約・省略して記載している場合があります。
・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7. 回答者の属性

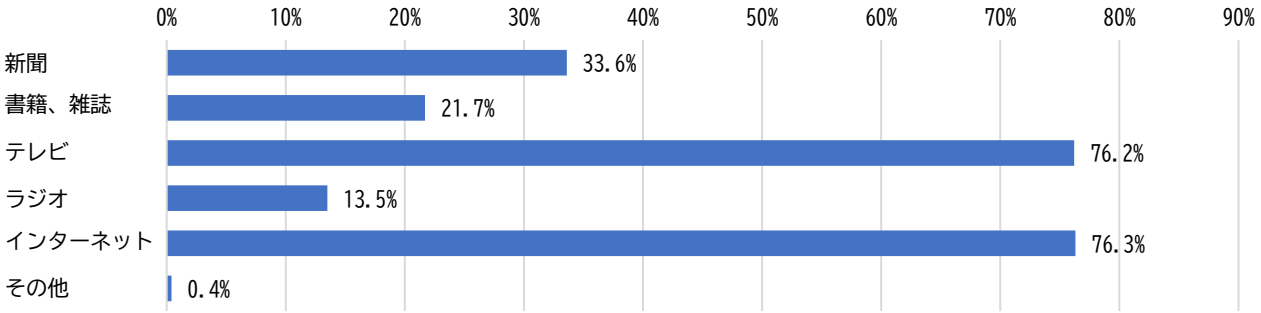
【性別(回答者数:977)】



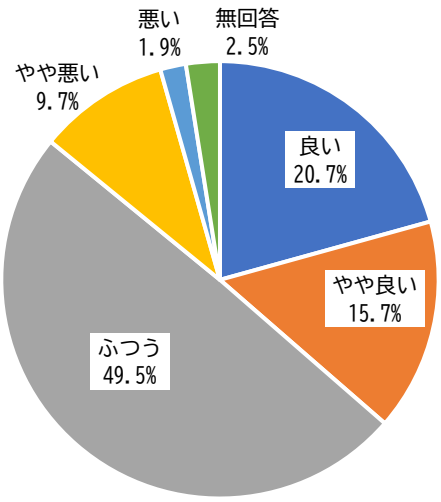
【年齢(回答者数:977)】



【日常的に利用する主なメディア(回答者数:977)】



【現在の暮らし向き(回答者数:977)】



II. 調査結果

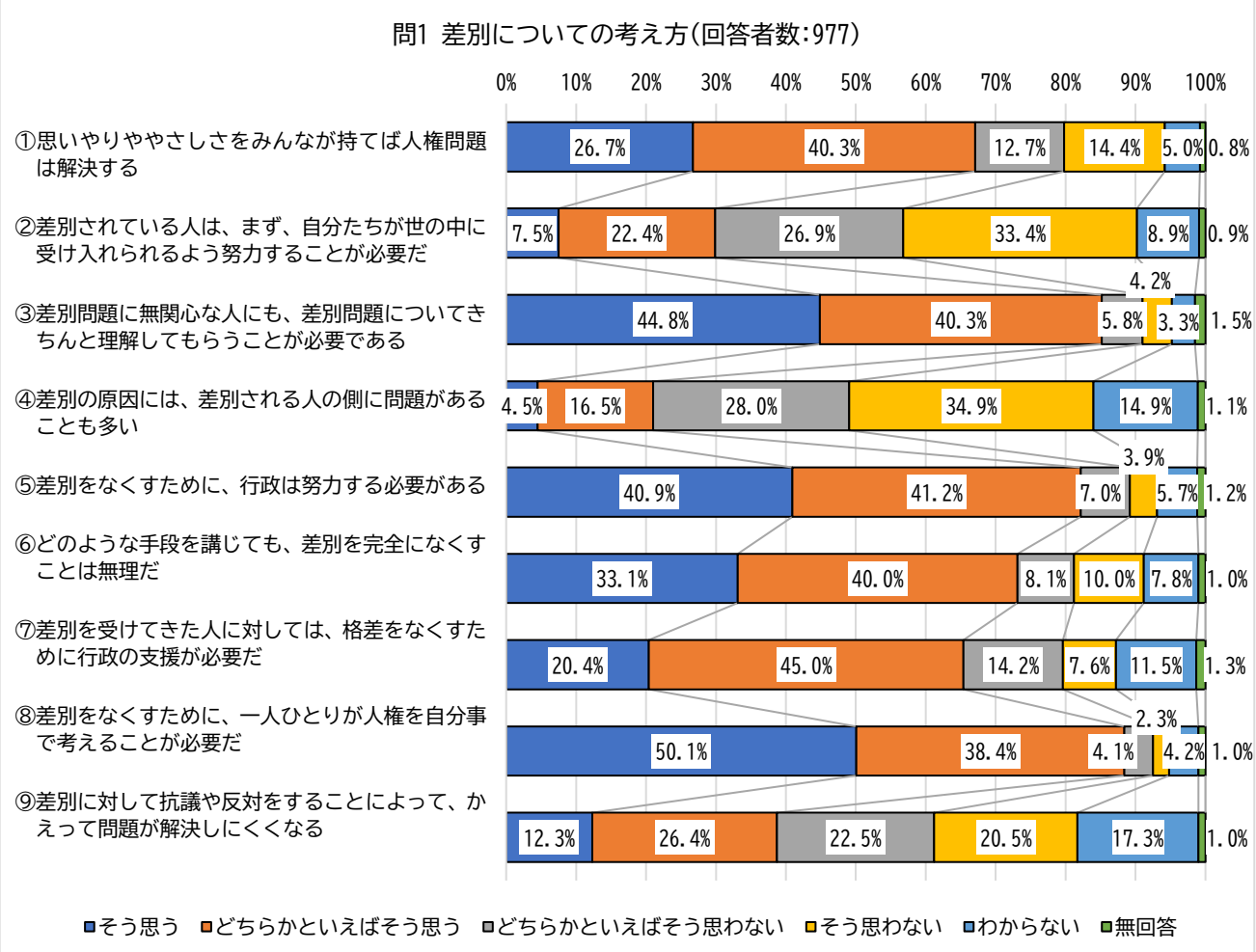
※本冊子は報告書概要版のため、調査結果は抜粋して掲載しています。

1. 人権問題や差別についての考え方について

問１　一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、『⑧差別をなくすために、一人ひとりが人権を自分事で考えることが必要だ』で 88.5%と最も高く、次いで『③差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である』で 85.1%となっています。

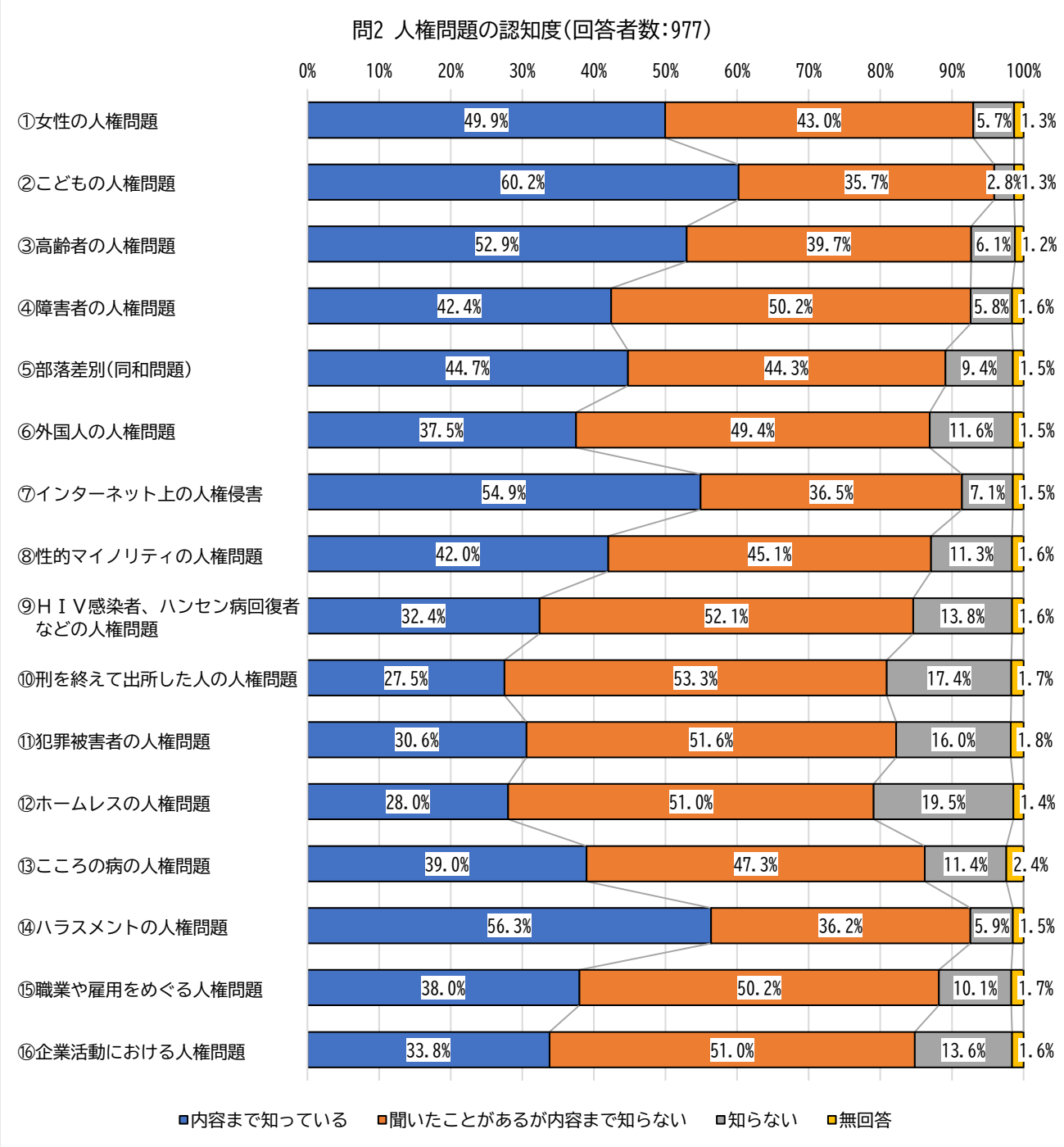
一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、『④差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い』で 62.9%と最も高く、次いで『②差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』で 60.3%となっています。



問２　あなたは、以下の人権問題の内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。（A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○）

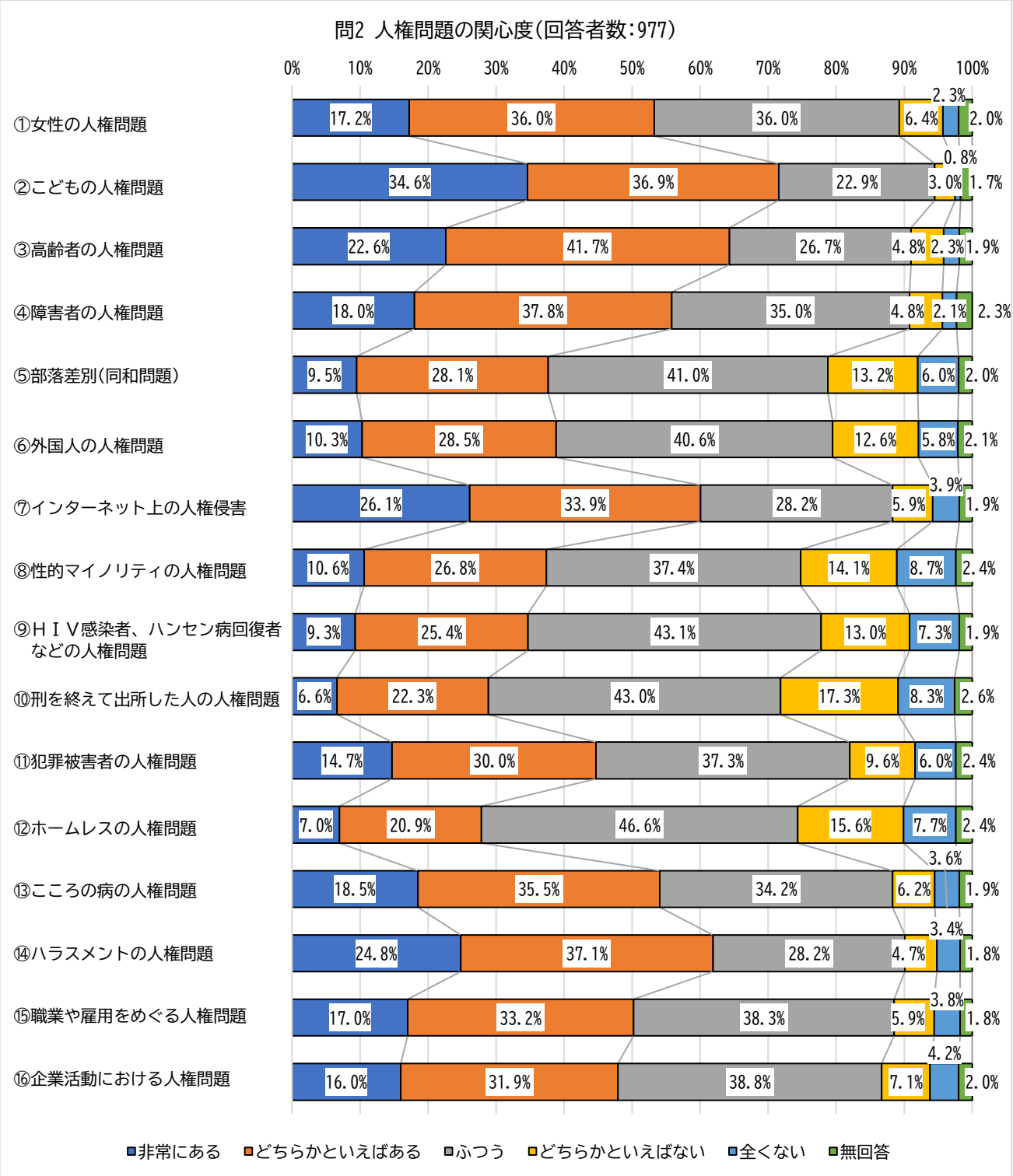
A. 認知度

「内容まで知っている」の割合は、『②こどもの人権問題』で 60.2%と最も高く、次いで『⑭ハラスメントの人権問題』で 56.3%となっています。



B. 関心度

「非常にある」と「どちらかといえばある」を合わせた“ある”の割合は、『②こどもの人権問題』で 71.5％と最も高く、次いで『③高齢者の人権問題』で 64.3％となっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1)人権問題の認知度と関心度の得点化

16 項目について、「認知度」と「関心度」を選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■認知度の得点化の手順

認知度	得点
内容まで知っている	2点
聞いたことがあるが、 内容まで知らない	0点
知らない	－2点
無回答	計算対象外

■関心度の得点化の手順

関心度	得点
非常にある	2点
どちらかといえばある	1点
ふつう	0点
どちらかといえばない	－1点
全くない	－2点
無回答	計算対象外

■認知度の得点を算出する方法

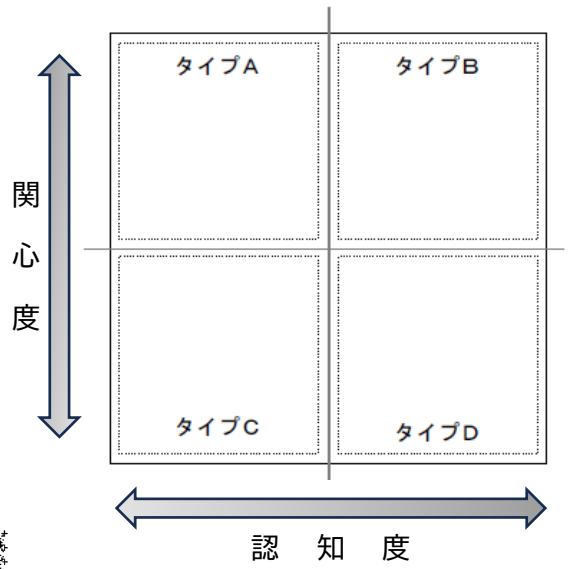
〔 2点 ×「内容まで知っている」の回答数
0点 ×「聞いたことがあるが、内容まで知らない」の回答数
－2点 ×「知らない」の回答数 〕 合計／無回答を除く回答数

■関心度の得点を算出する方法

〔 2 点 ×「非常にある」の回答数
1 点 ×「どちらかといえばある」の回答数
0 点 ×「ふつう」の回答数
－1 点 ×「どちらかといえばない」の回答数
－2点 ×「全くない」の回答数 〕 合計／無回答を除く回答数

(2)ポートフォリオ分析による認知度・関心度の評価

各項目の認知度・関心度の得点の関係について、認知度・関心度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4 つの領域に区分したプロット図を作成し分析しました。



◆タイプA
認知度は低いが、関心度は高い

◆タイプB
認知度は高く、関心度も高い

◆タイプC
認知度は低く、関心度も低い

◆タイプD
認知度は高いが、関心度は低い

●人権問題のポートフォリオ分析

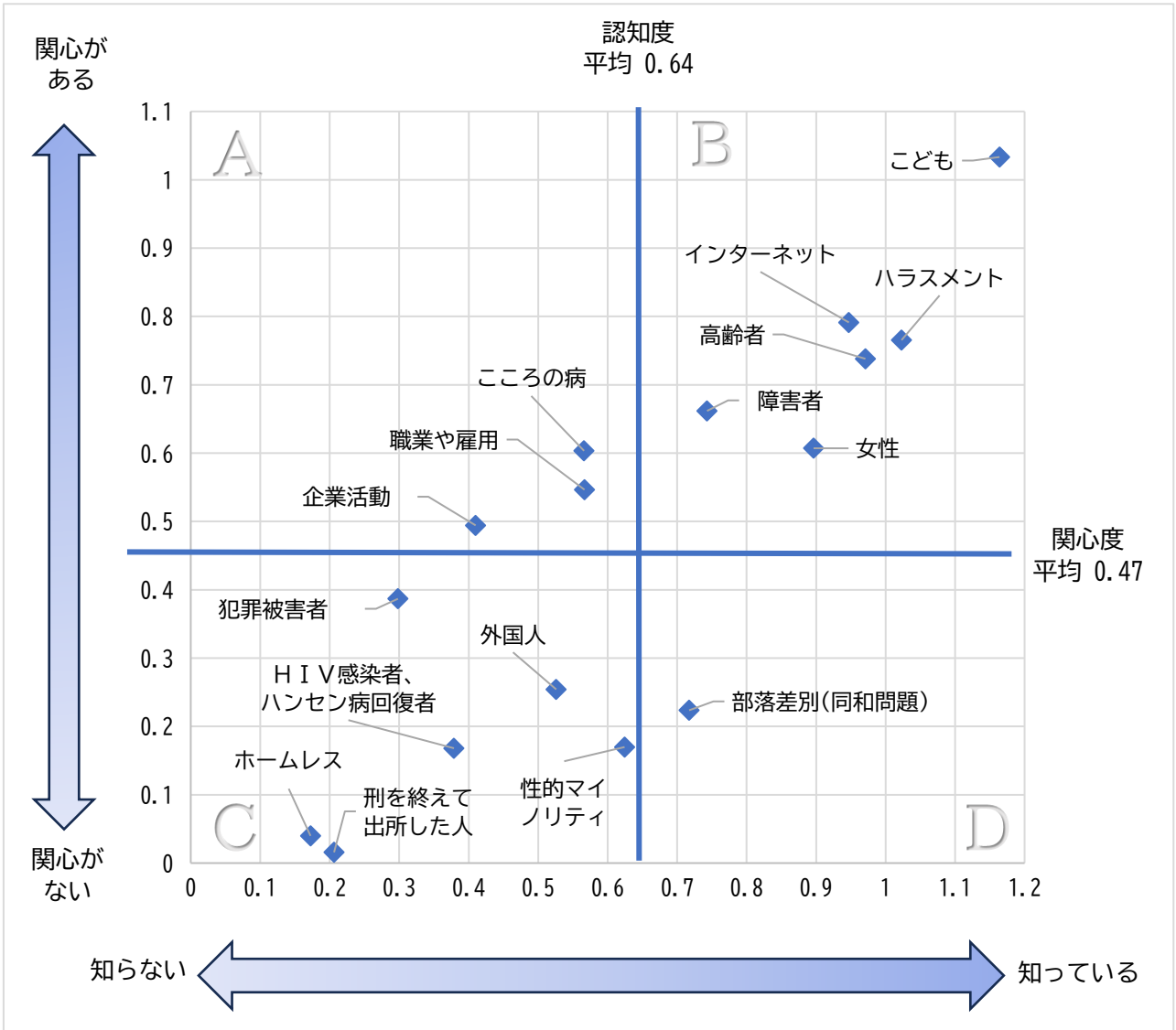
【全体】

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』、『職業や雇用』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『高齢者』、『ハラスメント』、『インターネット』、『障害者』、『女性』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『犯罪被害者』、『外国人』、『性的マイノリティ』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『ホームレス』、『刑を終えて出所した人』が該当しています。

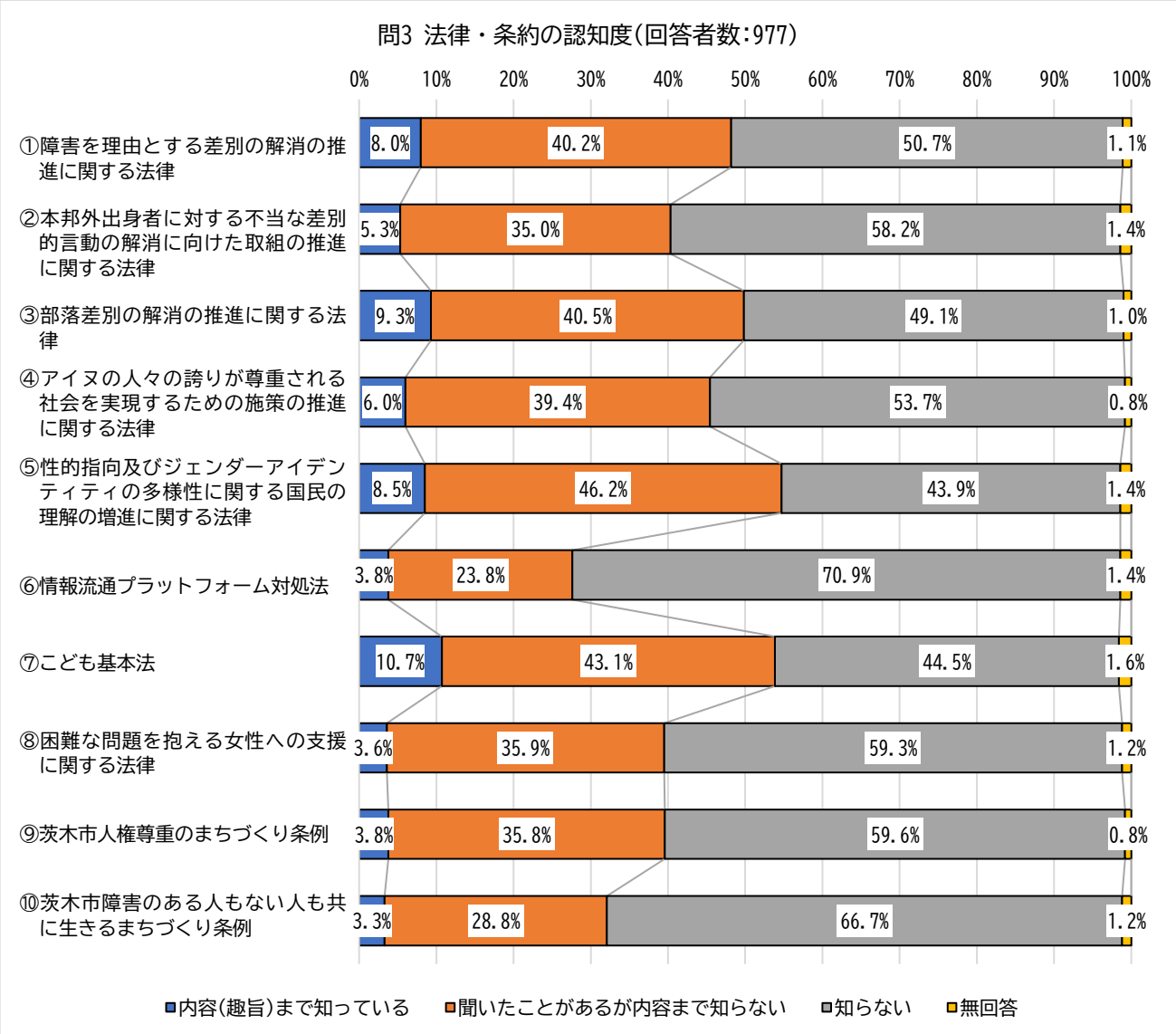
認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』が該当しています。



問３　あなたは、以下の法律や条例、また、人権問題に関する行政の取組や相談窓口を知っていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

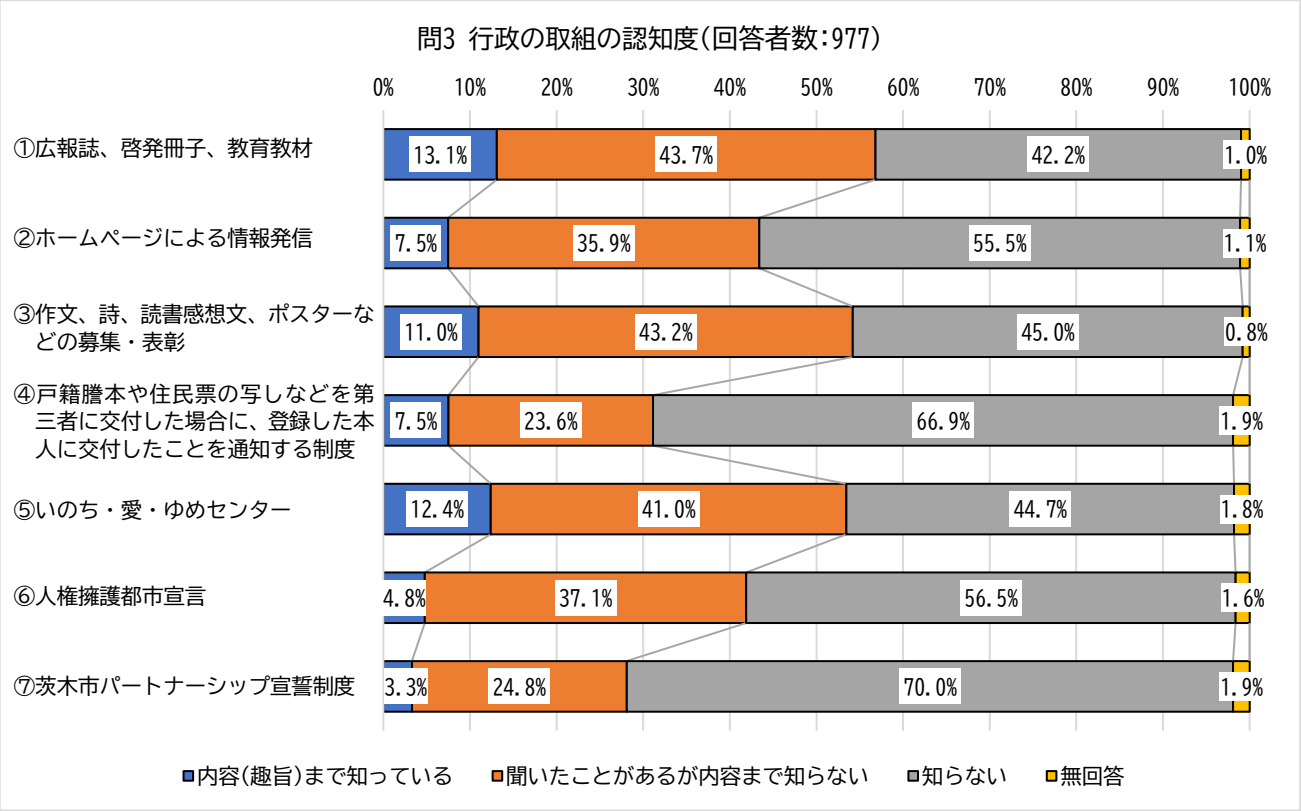
【法律・条例】

法律・条例の認知度については、いずれの項目も「内容（趣旨）まで知っている」の割合は最も高い『⑦こども基本法』の 10.7％を除いて1割未満となっています。また、「知らない」の割合は、『⑥情報流通プラットフォーム対処法』で 70.9％と最も高く、次いで『⑩茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例』で 66.7％となっています。



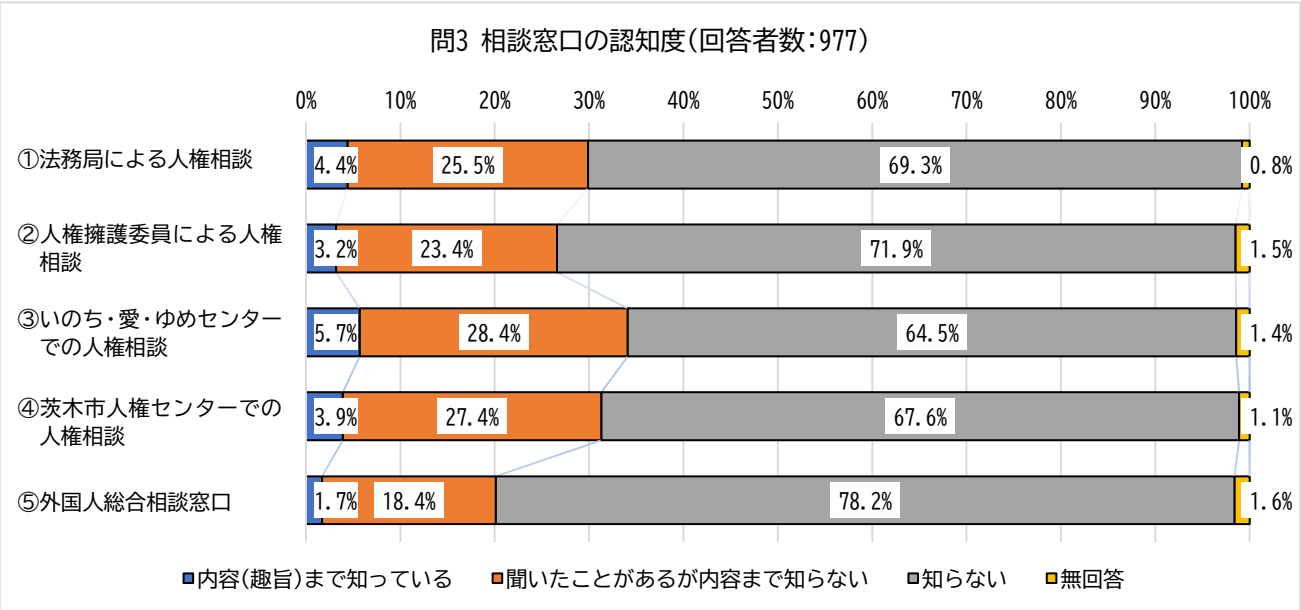
【行政の取組】

行政の取組の認知度については、「内容（趣旨）まで知っている」の割合は、『①広報誌、啓発冊子、教育教材』で 13.1%と最も高く、次いで『⑤いのち・愛・ゆめセンター』で 12.4%となっています。また、「知らない」の割合は、『⑦茨木市パートナーシップ宣誓制度』が 70.0%と最も高くなっています。



【相談窓口】

相談窓口の認知度については、いずれの項目も「知らない」の割合が6割を超えて最も高くなっています。



問４　あなたは、以下の人権問題について、これまでに学校、職場及び地域で学習したことはありますか。（それぞれ○はいくつでも）

①女性・男女共同参画

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 24.9%、「高校・大学の授業」の割合が 19.9%となっています。

②こども

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 24.3%、「高校・大学の授業」の割合が 16.4%となっています。

③高齢者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 13.1%、「高校・大学の授業」の割合が 11.5%となっています。

④障害者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 27.2%、「高校・大学の授業」の割合が 17.2%となっています。

⑤部落差別（同和問題）

「小・中学校の授業」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 35.1%、「高校・大学の授業」の割合が 14.5%となっています。

⑥外国人

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 10.4%、「高校・大学の授業」の割合が 9.3%となっています。

⑦インターネット上の人権侵害

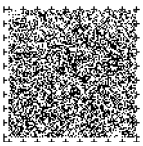
「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「職場の研修」の割合が 14.3%、「高校・大学の授業」の割合が 11.4%となっています。

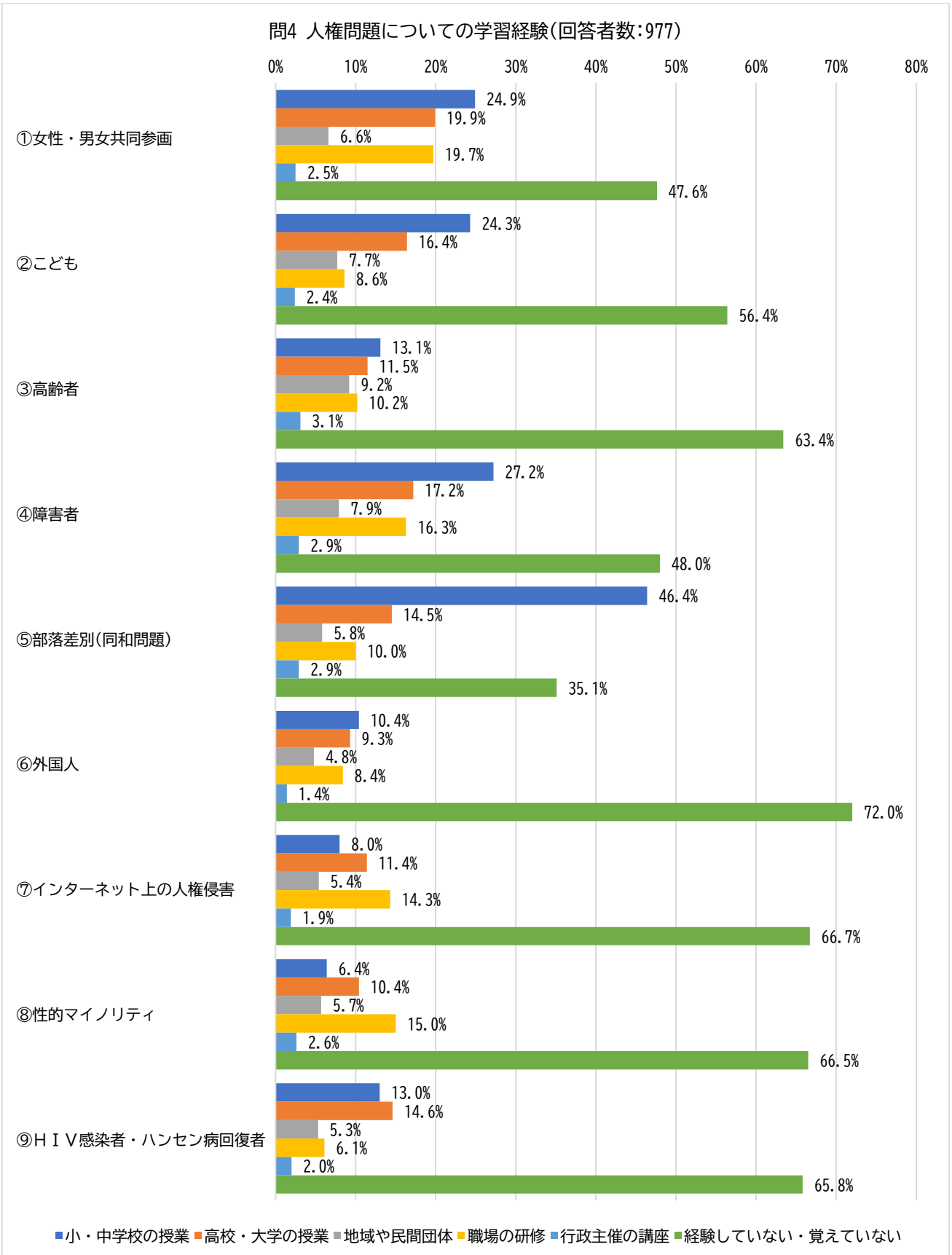
⑧性的マイノリティ（LGBTQ）など

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「職場の研修」の割合が 15.0%、「高校・大学の授業」の割合が 10.4%となっています。

⑨HIV 感染者・ハンセン病回復者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「高校・大学の授業」の割合が 14.6%、「小・中学校の授業」の割合が 13.0%となっています。

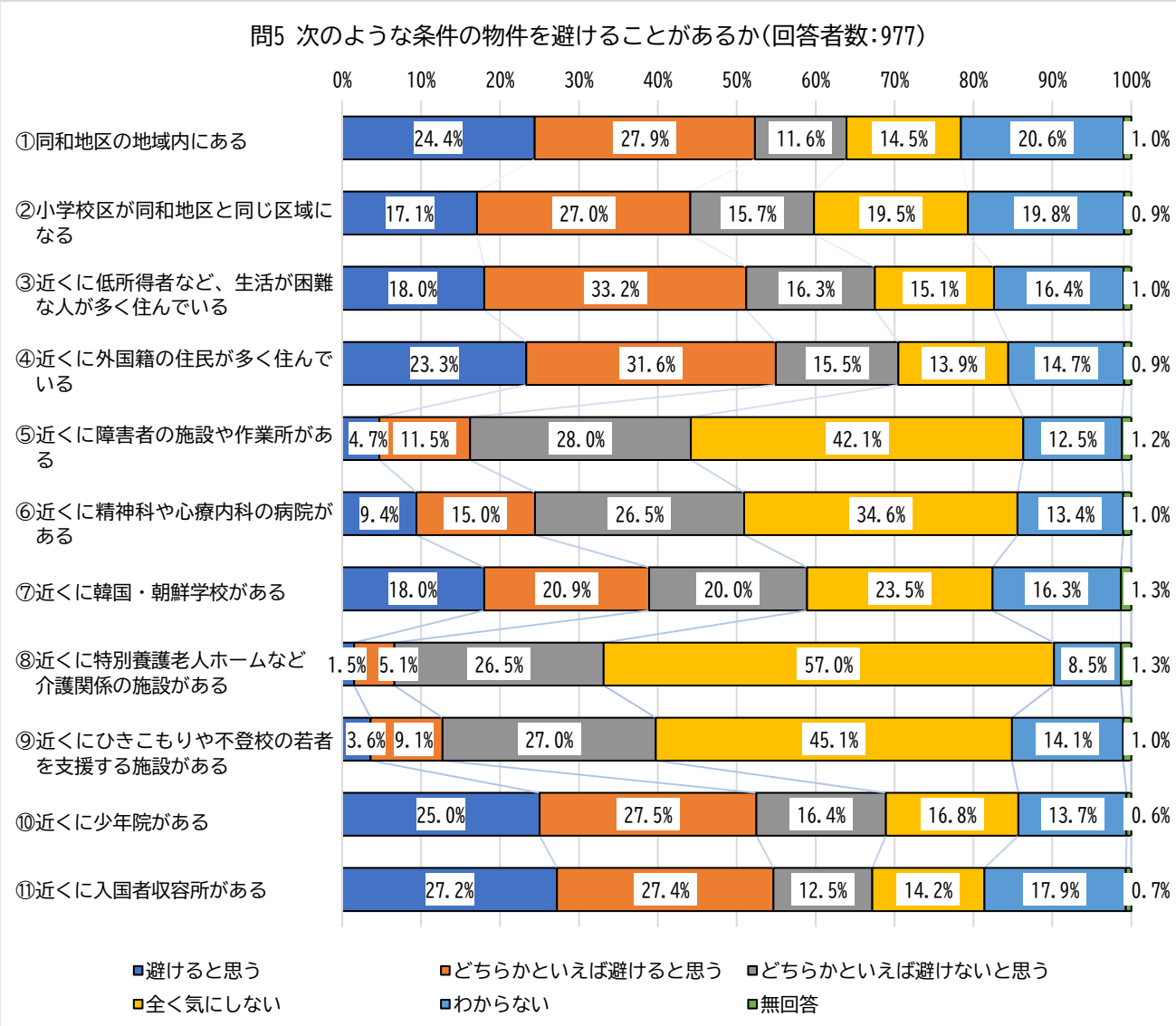



問4 人権問題についての学習経験(回答者数:977)
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
①女性・男女共同参画
24.9%
19.9%
6.6%
19.7%
2.5%
47.6%
②こども
24.3%
16.4%
7.7%
8.6%
2.4%
56.4%
③高齢者
13.1%
11.5%
9.2%
10.2%
3.1%
63.4%
④障害者
27.2%
17.2%
7.9%
16.3%
2.9%
48.0%
⑤部落差別(同和問題)
46.4%
14.5%
5.8%
10.0%
2.9%
35.1%
⑥外国人
10.4%
9.3%
4.8%
8.4%
1.4%
72.0%
⑦インターネット上の人権侵害
8.0%
11.4%
5.4%
14.3%
1.9%
66.7%
⑧性的マイノリティ
6.4%
10.4%
5.7%
15.0%
2.6%
66.5%
⑨ＨＩＶ感染者・ハンセン病回復者
13.0%
14.6%
5.3%
6.1%
2.0%
65.8%
小・中学校の授業
高校・大学の授業
地域や民間団体
職場の研修
行政主催の講座
経験していない・覚えていない

問５　あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に合っていても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

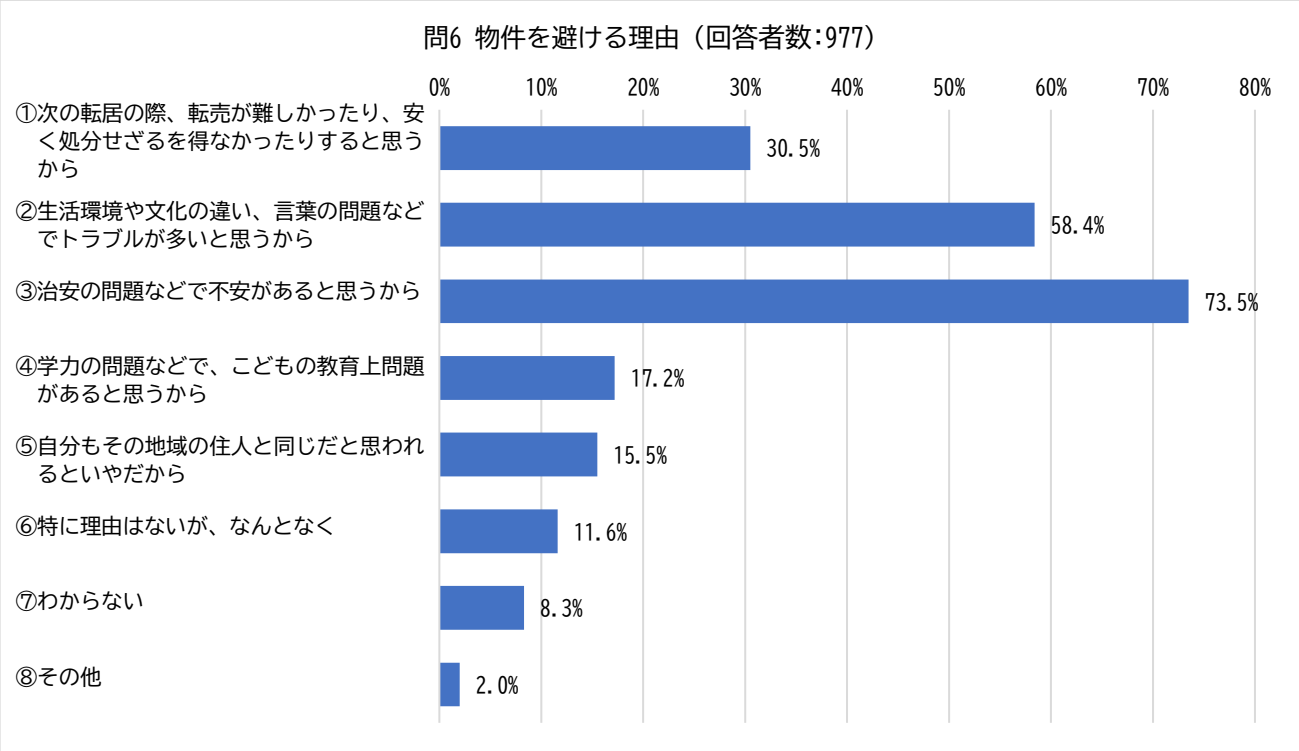
「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた“避けると思う”の割合は、『④近くに外国籍の住民が多く住んでいる』で 54.9%と最も高く、次いで『⑪近くに入国者収容所がある』で 54.6%となっています。

一方、「どちらかといえば避けないと思う」と「全く気にしない」をあわせた“避けないと思う”の割合は、『⑧近くに特別養護老人ホームなど介護関係の施設がある』での割合が 83.5%と最も高く、次いで『⑨近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある』で 72.1%となっています。



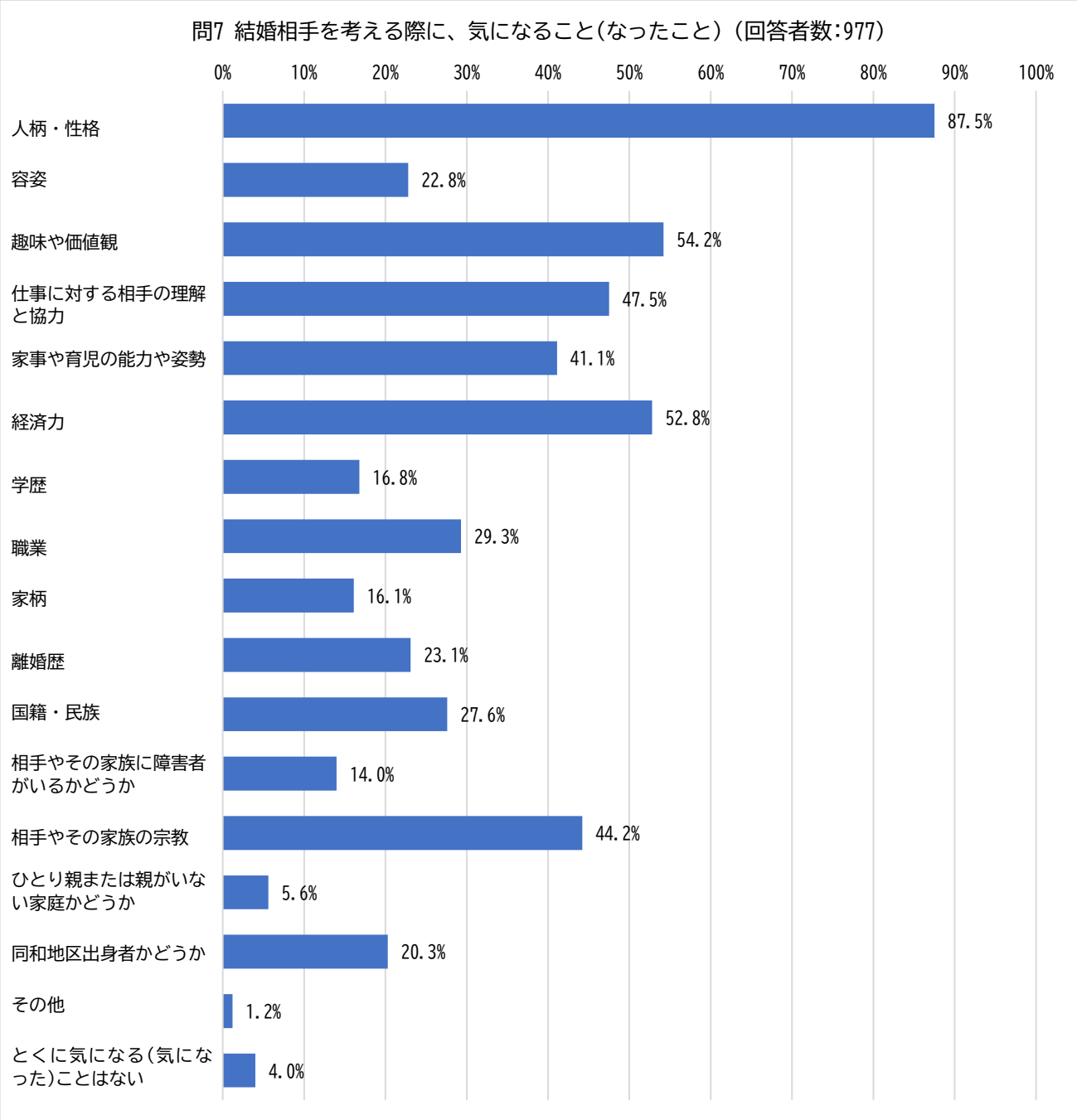
問６　問５のような場合に住宅の購入や入居を避けることがあるのはなぜだと思いますか。（○はいくつでも）

『治安の問題などで不安があると思うから』の割合が 73.5％と最も高く、次いで『生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから』の割合が 58.4％、『次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりすると思うから』の割合が 30.5％となっています。



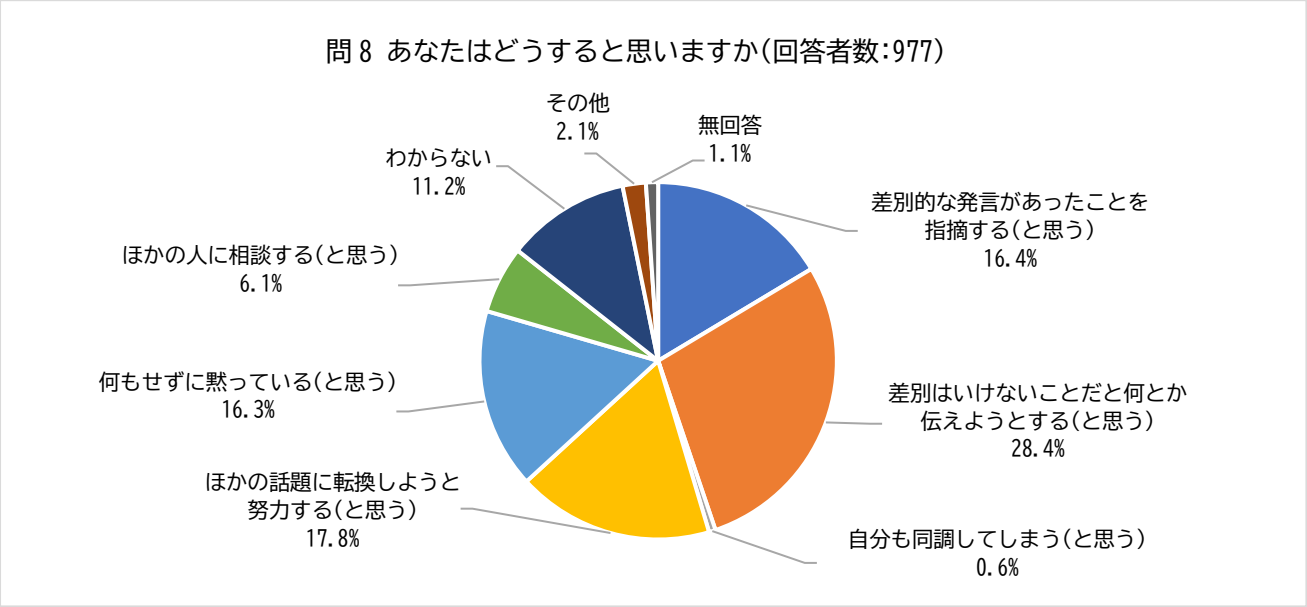
問７　あなた、もしくは、あなたのお子さんが結婚相手を考える際に、気になること（なったこと）はどんなことですか。（○はいくつでも）

「人柄・性格」の割合が 87.5%と最も高く、次いで「趣味や価値観」の割合が 54.2%、「経済力」の割合が 52.8%となっています。



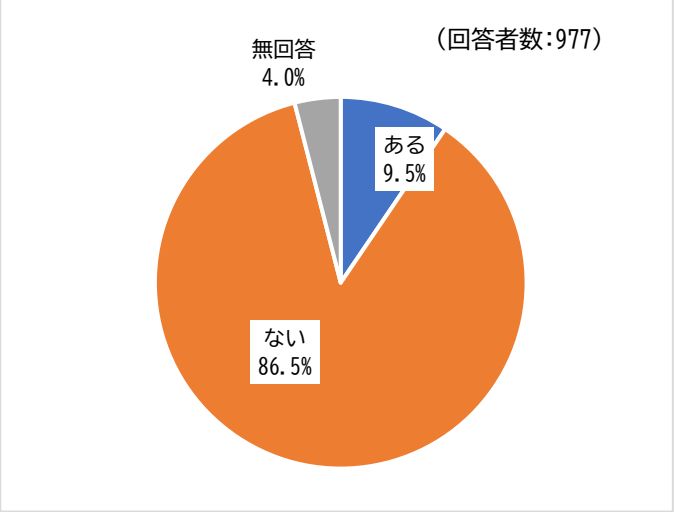
問８　学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはどうすると思いますか。（あてはまるもの１つに○）

「差別はいけないことだと何とか伝えようとする（と思う）」の割合が 28.4％と最も高く、次いで「ほかの話題に転換しようと努力する（と思う）」の割合が 17.8％、「差別的な発言があったことを指摘する（と思う）」の割合が 16.4％となっています。



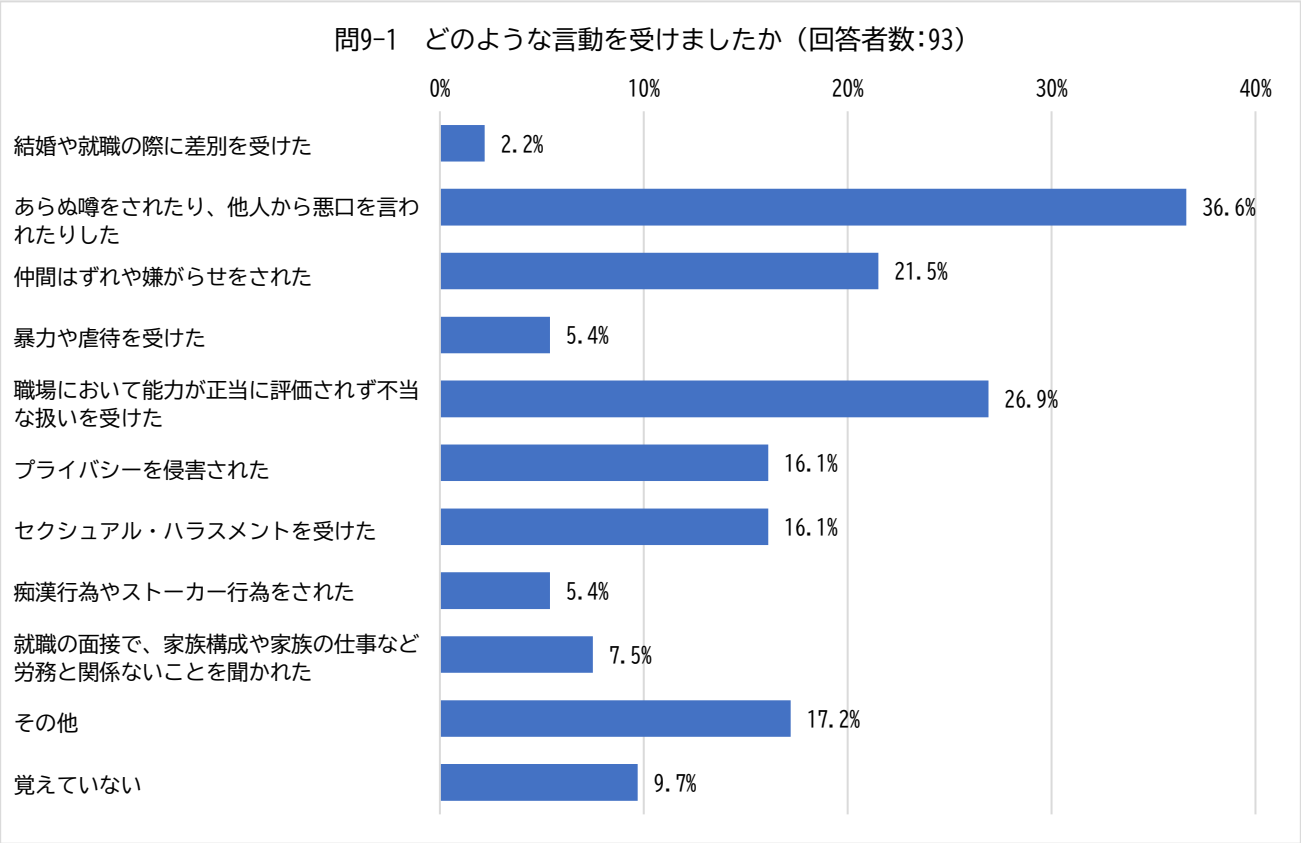
問９　この５年位の間に、あなたは、人権を侵害されたことがありますか。（○はいずれか1つ）

この5年で人権を侵害された経験は 9.5％が「ある」と回答しています。



問 9－1～問 9－3は、問 9で「1 ある」と答えた方にお聞きします。
問 9－1 どのような言動を受けましたか。（○はいくつでも）

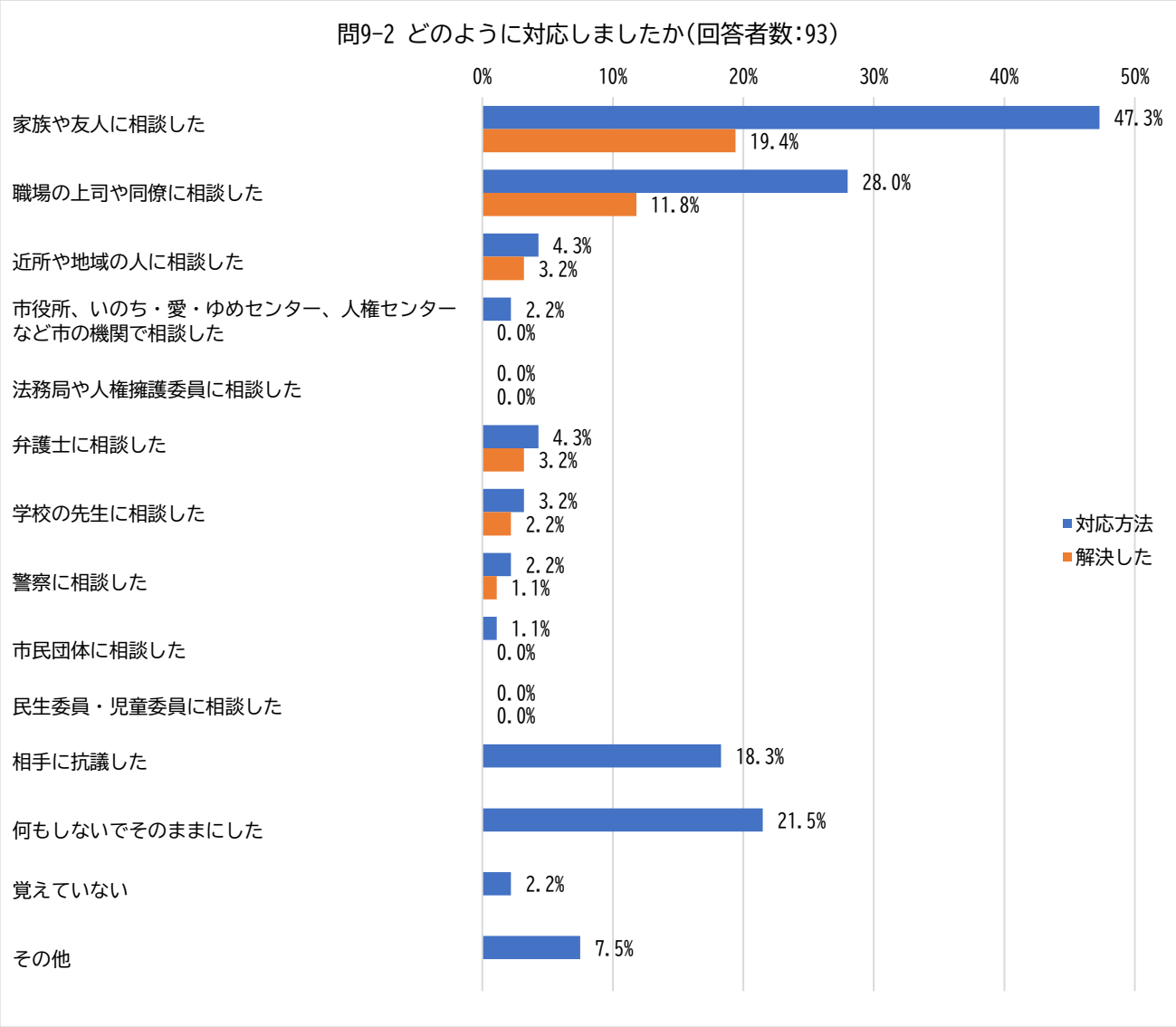
「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした」の割合が 36.6％で最も高く、次いで「職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた」が 26.9％、「仲間はずれや嫌がらせをされた」が 21.5％となっています。



問９－２　どのように対応しましたか。（1の欄の○はいくつでも）
そのうち、相談して解決したものはありますか。（2の欄であてはまるものに○）

「家族や友人に相談した」割合が47.3％で最も高く、次いで「職場の上司や同僚に相談した」が28.0％、「何もしないでそのままにした」が21.5％の順になっています。

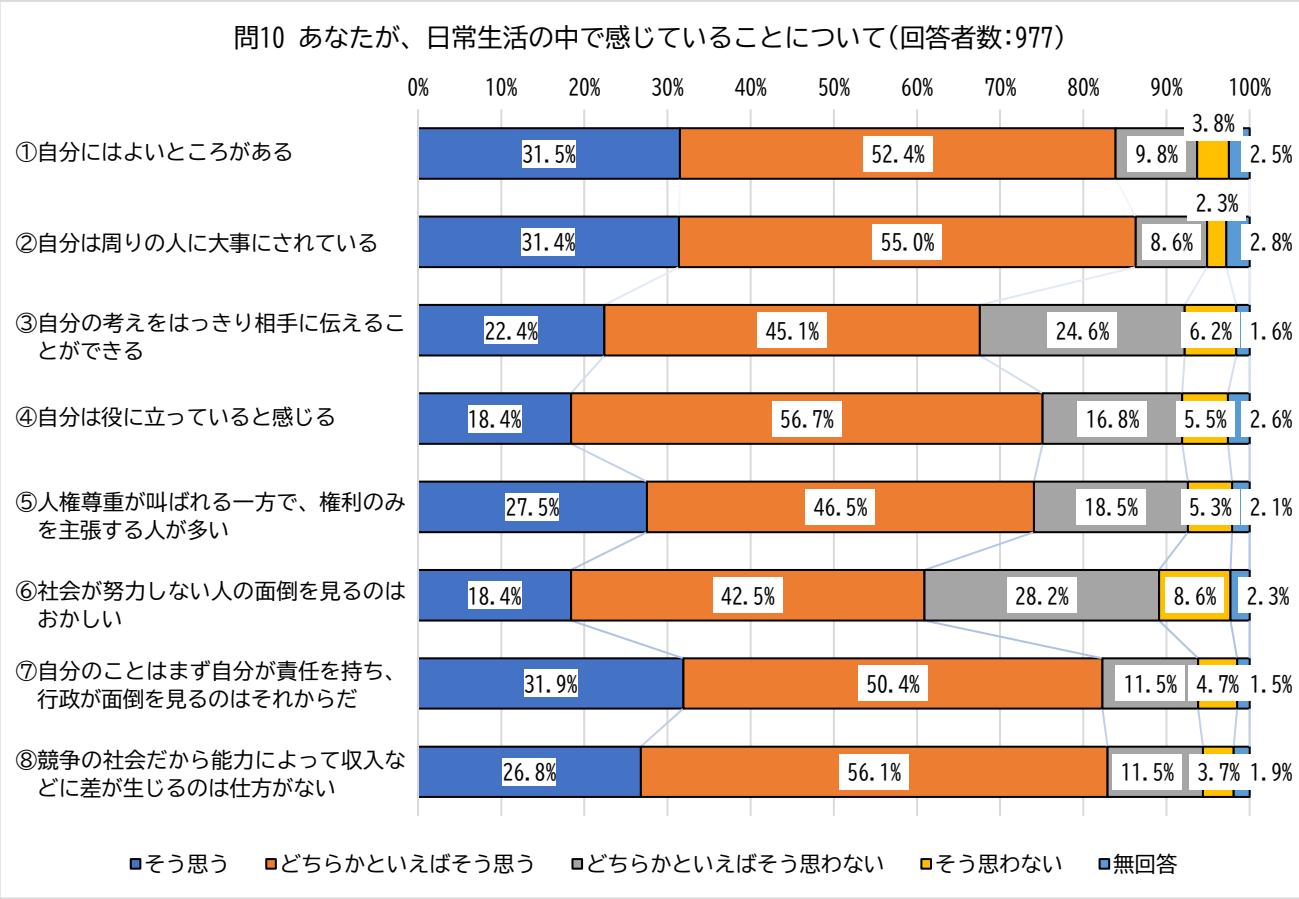
上記のうち、相談して解決した割合は「家族や友人に相談した」が 19.4％、「職場の上司や同僚に相談した」が11.8％となっています。



問 10 あなたが、日常生活の中で感じていることについてお答えください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、『②自分は周りの人に大事にされている』が 86.4%と最も高く、次いで『①自分にはよいところがある』で 83.9%となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、『⑥社会が努力しない人の面倒を見るのはおかしい』が 36.8%と最も高く、次いで『③自分の考えをはっきり相手に伝えることができる』で 30.8%となっています。



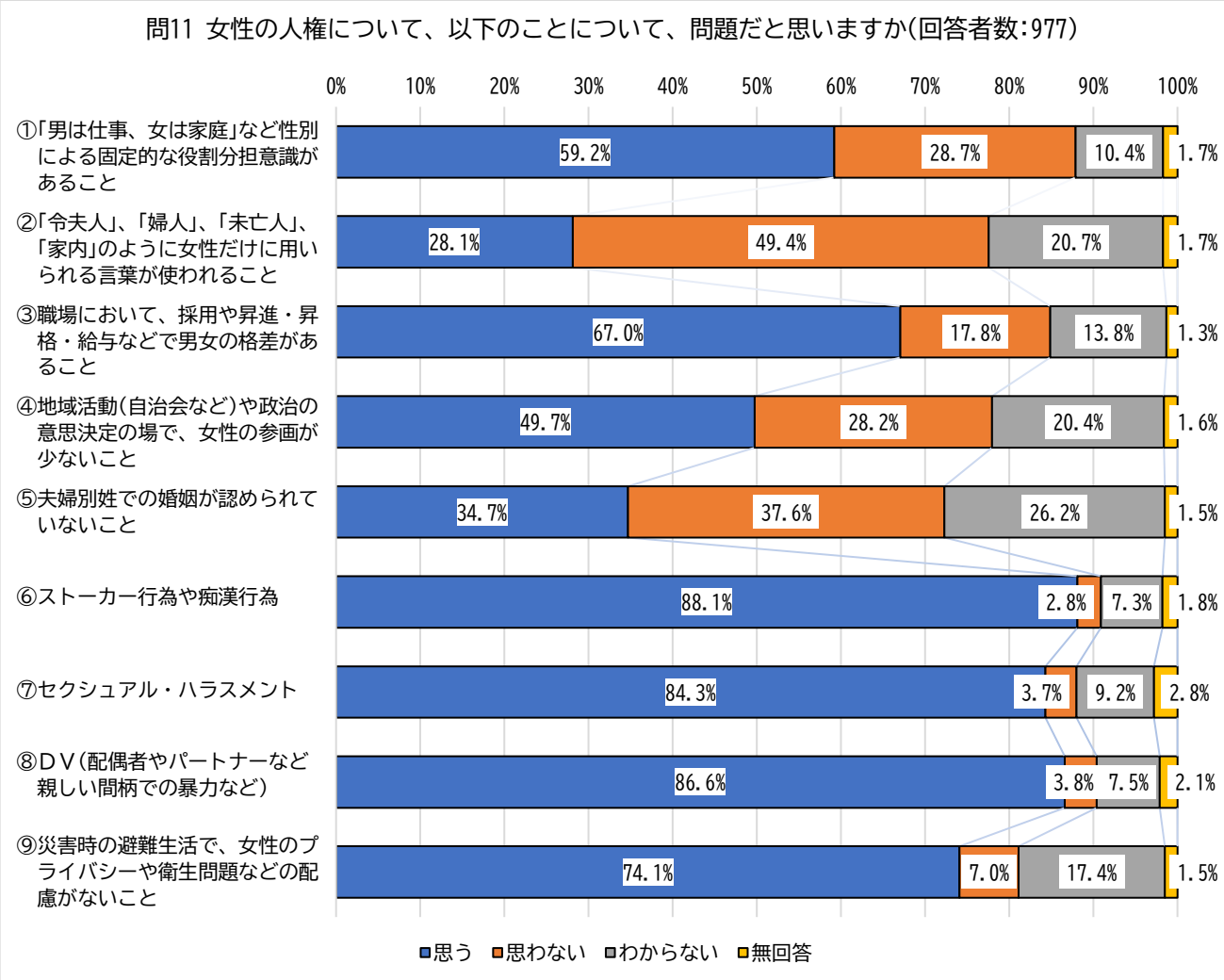
2. さまざまな人権問題について

(1)　女性の人権について

問 11 女性の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『⑥ストーカー行為や痴漢行為』で 88.1%と最も高く、次いで『⑧DV（配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力など）』で 86.6%、『⑦セクシュアル・ハラスメント』で 84.3%となっています。

一方、「思わない」の割合は『②「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること』で 49.4%と最も高く、次いで『⑤夫婦別姓での婚姻が認められていないこと』で 37.6%、『①「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること』で 28.7%となっています。

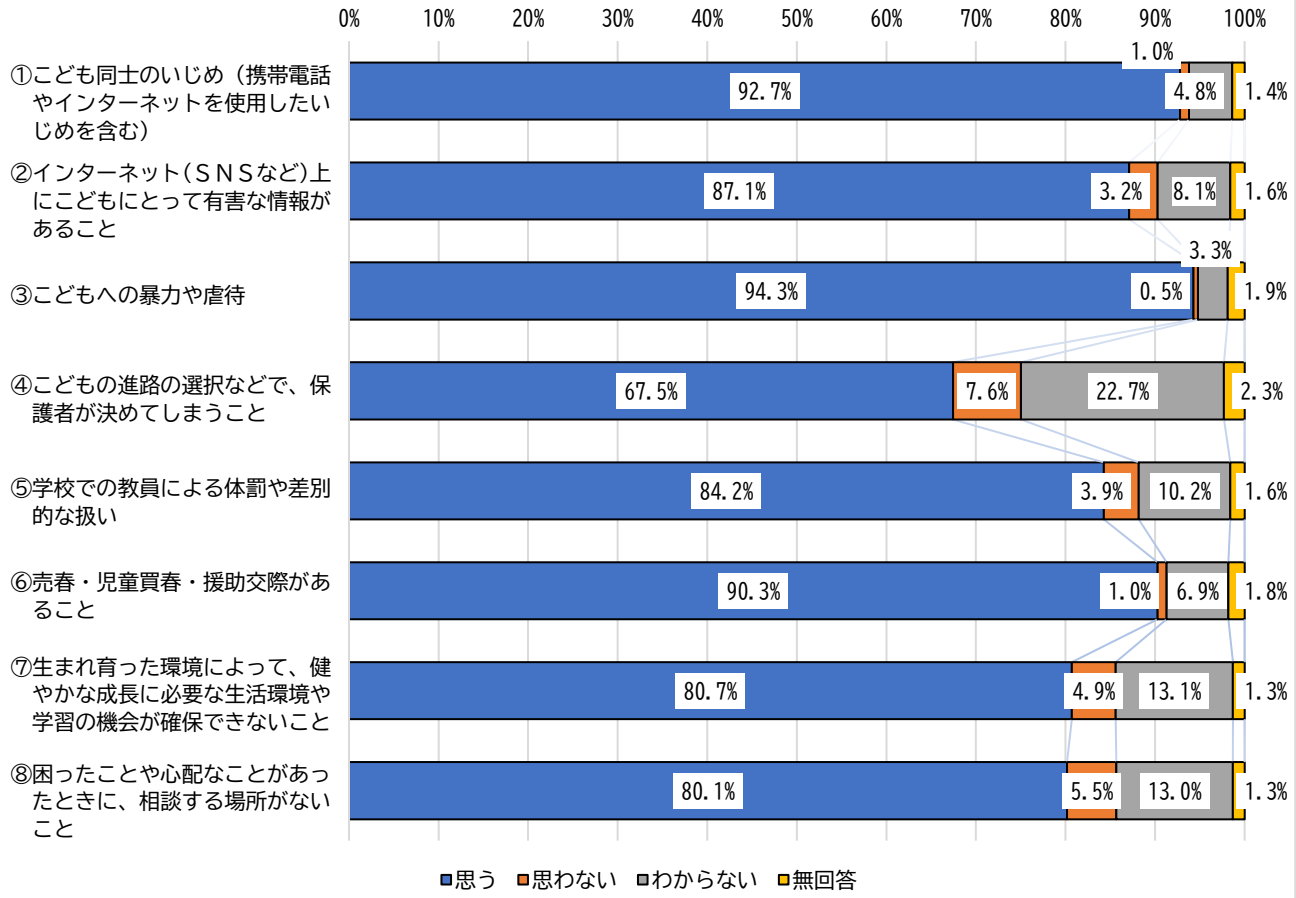


（2）　こどもの人権について

問 13　こどもの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③こどもへの暴力や虐待』で 94.3%と最も高く、次いで『①こども同士のいじめ（携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む）』で 92.7%、『⑥売春・児童買春・援助交際があること』で 90.3%となっています。

問13 こどもの人権について、以下のことについて、問題だと思いますか（回答者数：977）

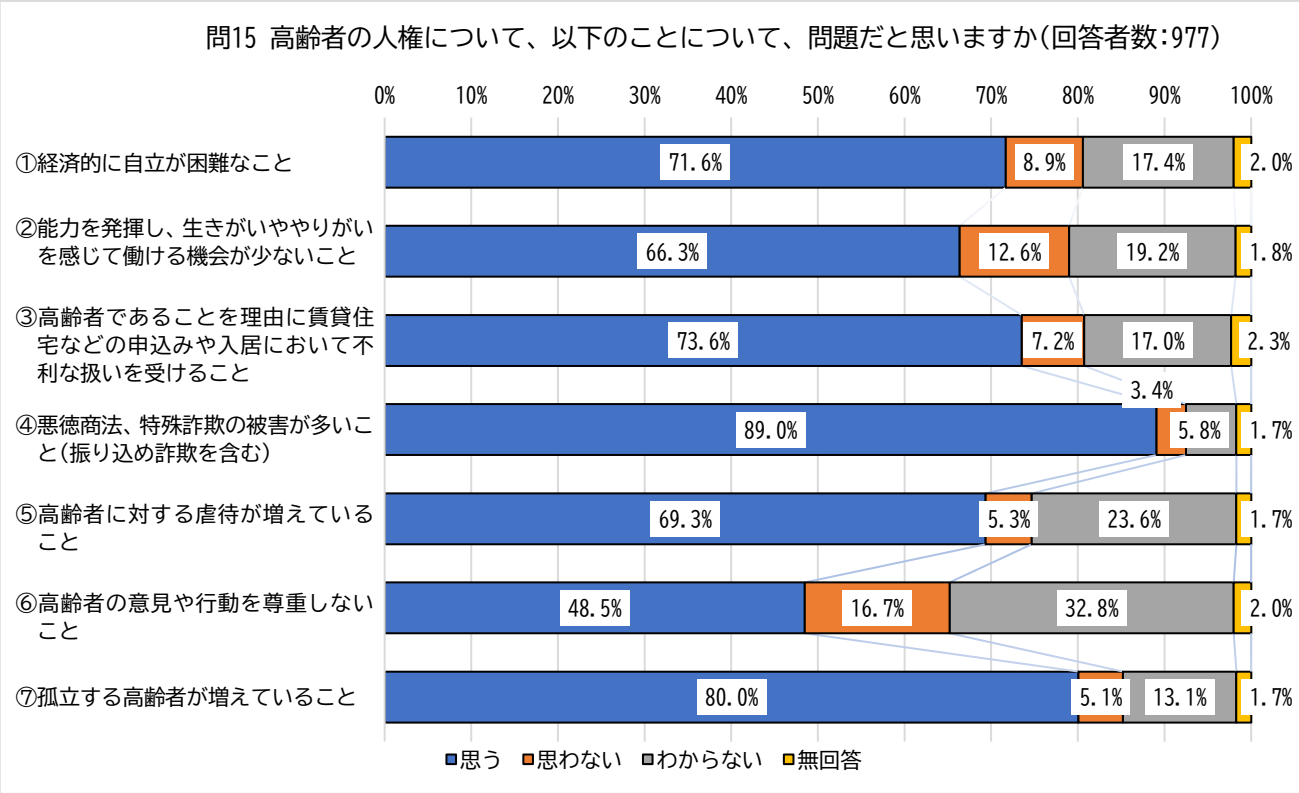


（3）　高齢者の人権について

問 15　高齢者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③悪徳商法の被害が多いこと（振り込め詐欺を含む）』で 89.0%と最も高く、次いで『⑦孤立する高齢者が増えていること』で 80.0%となっています。

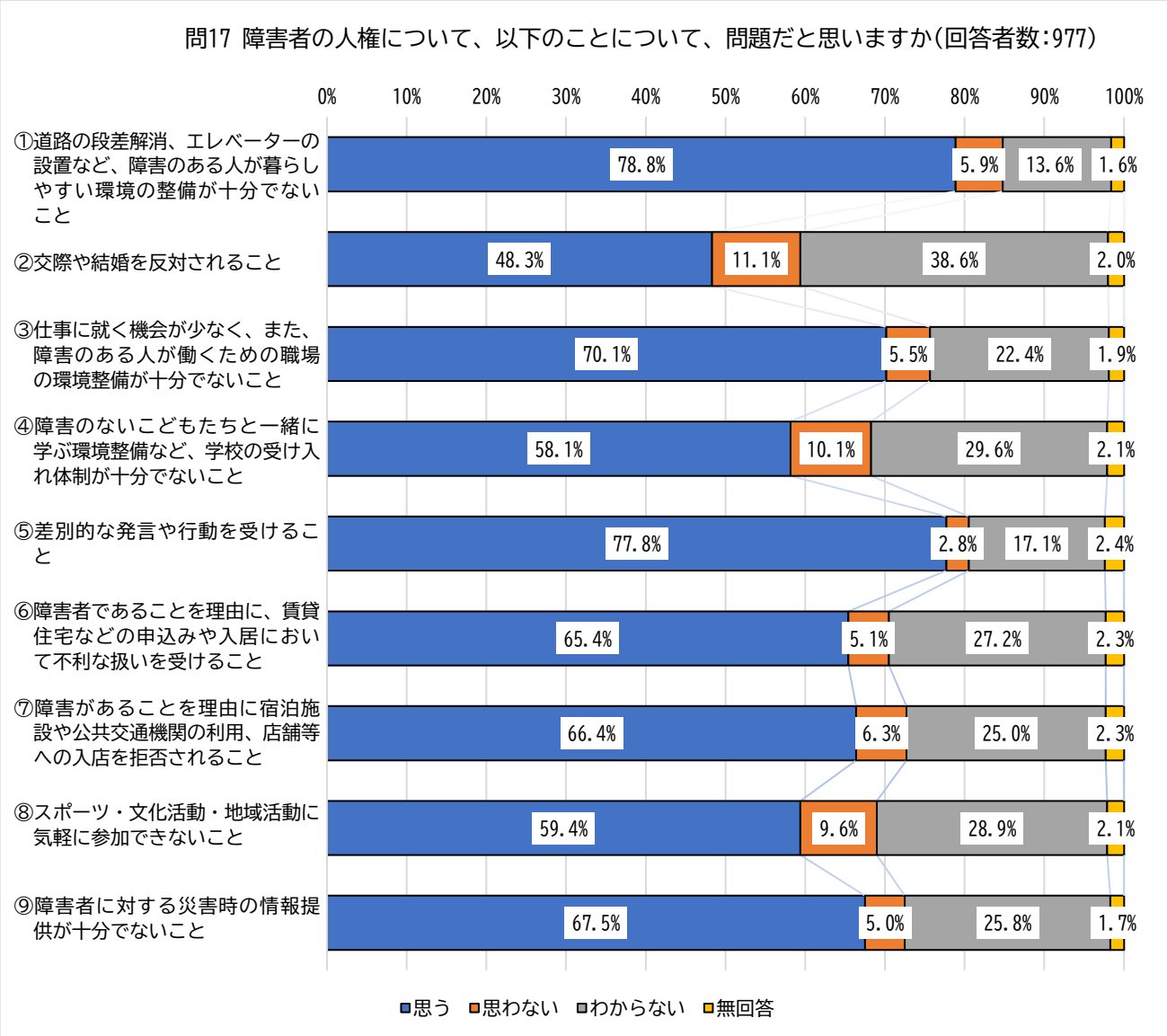
「思わない」の割合は、『⑥高齢者の意見や行動を尊重しないこと』で 16.7%と最も高くなっています。



（4）　障害者の人権について

問 17　障害者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

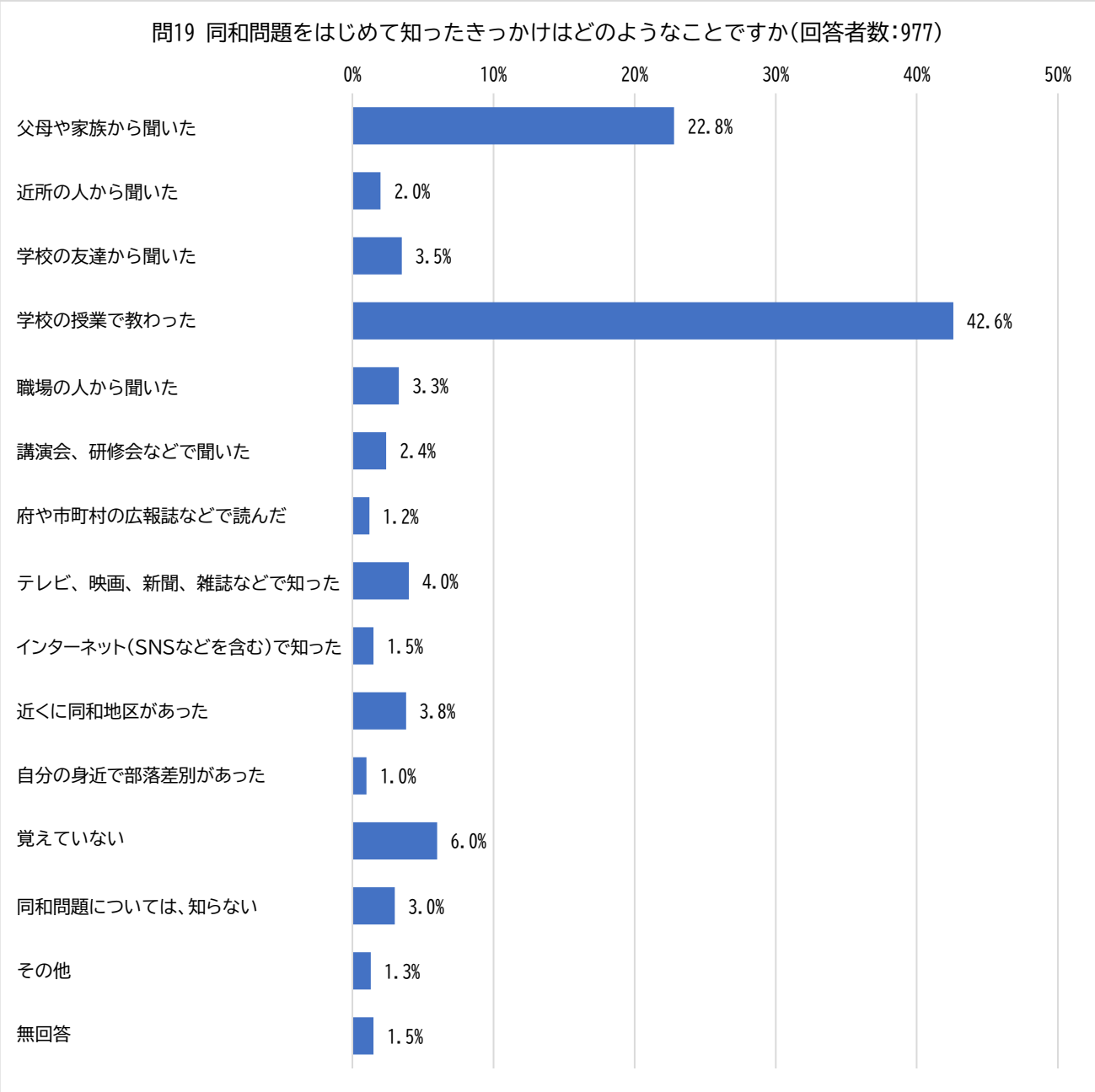
「思う」の割合は、『①道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすい環境の整備が十分でないこと』で 78.8%と最も高く、次いで『⑤差別的な発言や行動を受けること』で 77.8%となっています。



（5）　部落差別（同和問題）について

問 19　あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どのようなことがきっかけですか。（あてはまるもの1つに○）

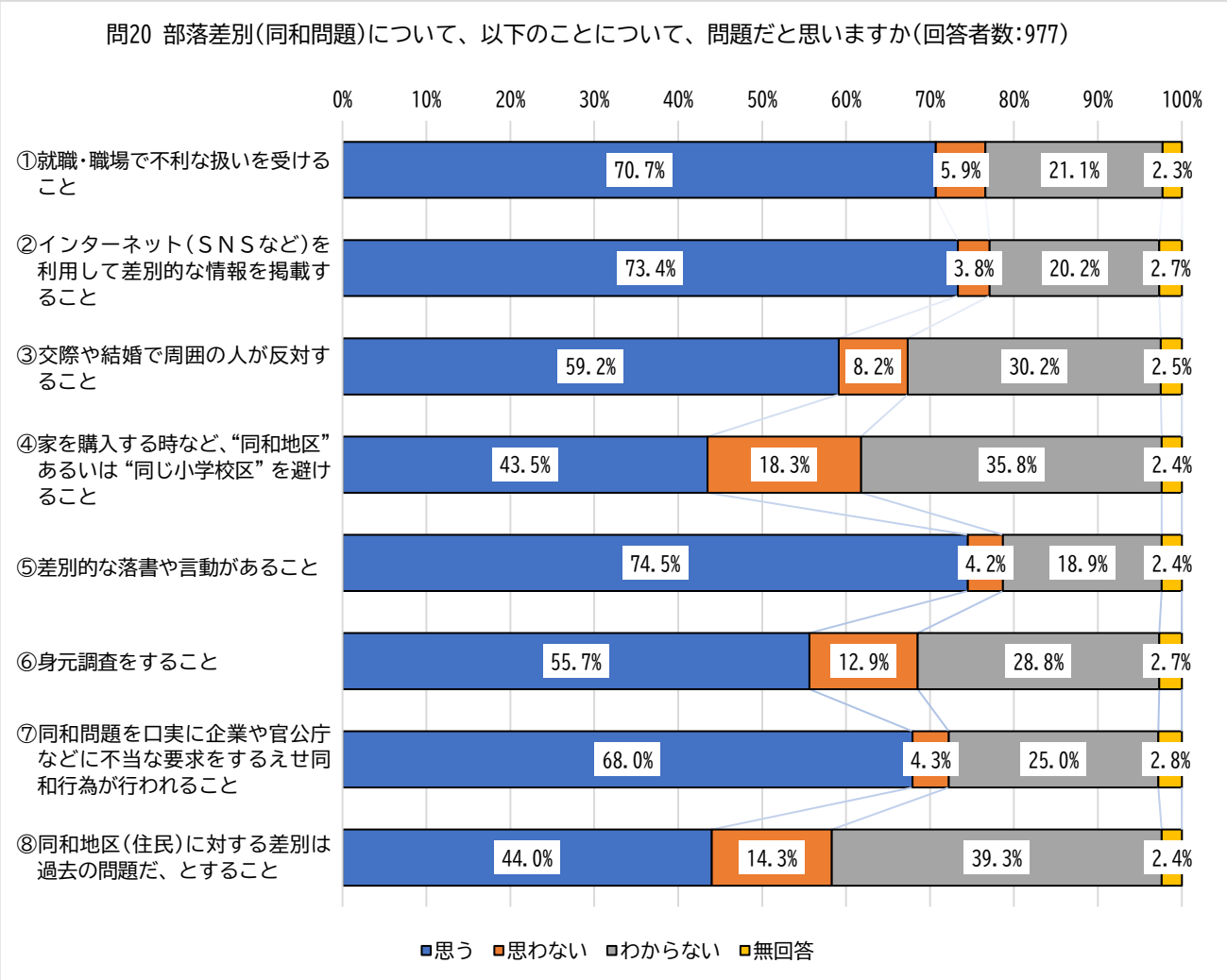
「学校の授業で教わった」の割合が 42.6％と最も高く、次いで「父母や家族から聞いた」の割合が22.8％となっています。



問 20　部落差別（同和問題）について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『⑤差別的な落書や言動があること』で 74.5％と最も高く、次いで『②インターネット（SNS など）を利用して差別的な情報を掲載すること』で 73.4％となっています。

一方、「思わない」の割合は、『④家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること』で 18.3％と最も高く、次いで『⑧同和地区（住民）に対する差別は過去の問題だ、とすること』で 14.3％となっています。

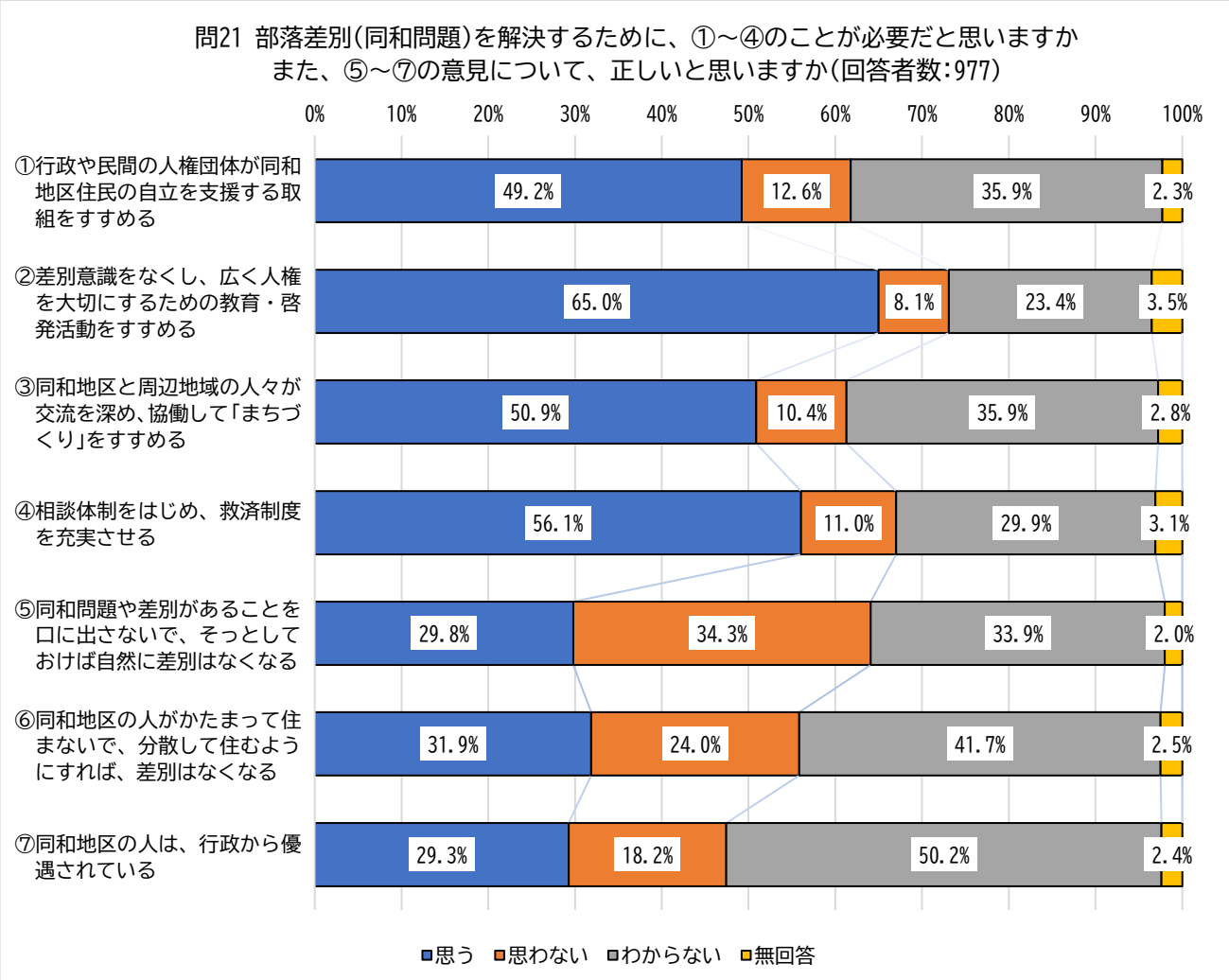


問 21　部落差別（同和問題）を解決するために、次の①～④のことが必要だと思いますか。
また、部落差別（同和問題）にかかわる⑤～⑦の意見について、正しいと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『②差別意識をなくし、広く人権を大切にするための教育・啓発活動をすすめる』で65.0%と最も高く、次いで『④相談体制をはじめ、救済制度を充実させる』で 56.1%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑤同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる』で 34.3%と最も高く、次いで『⑥同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる』で 24.0%となっています。

また、「わからない」の割合が高く、中でも『⑦同和地区の人は、行政から優遇されている』で 50.2%と最も高く、次いで『⑥同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる』で 41.7%となっています。



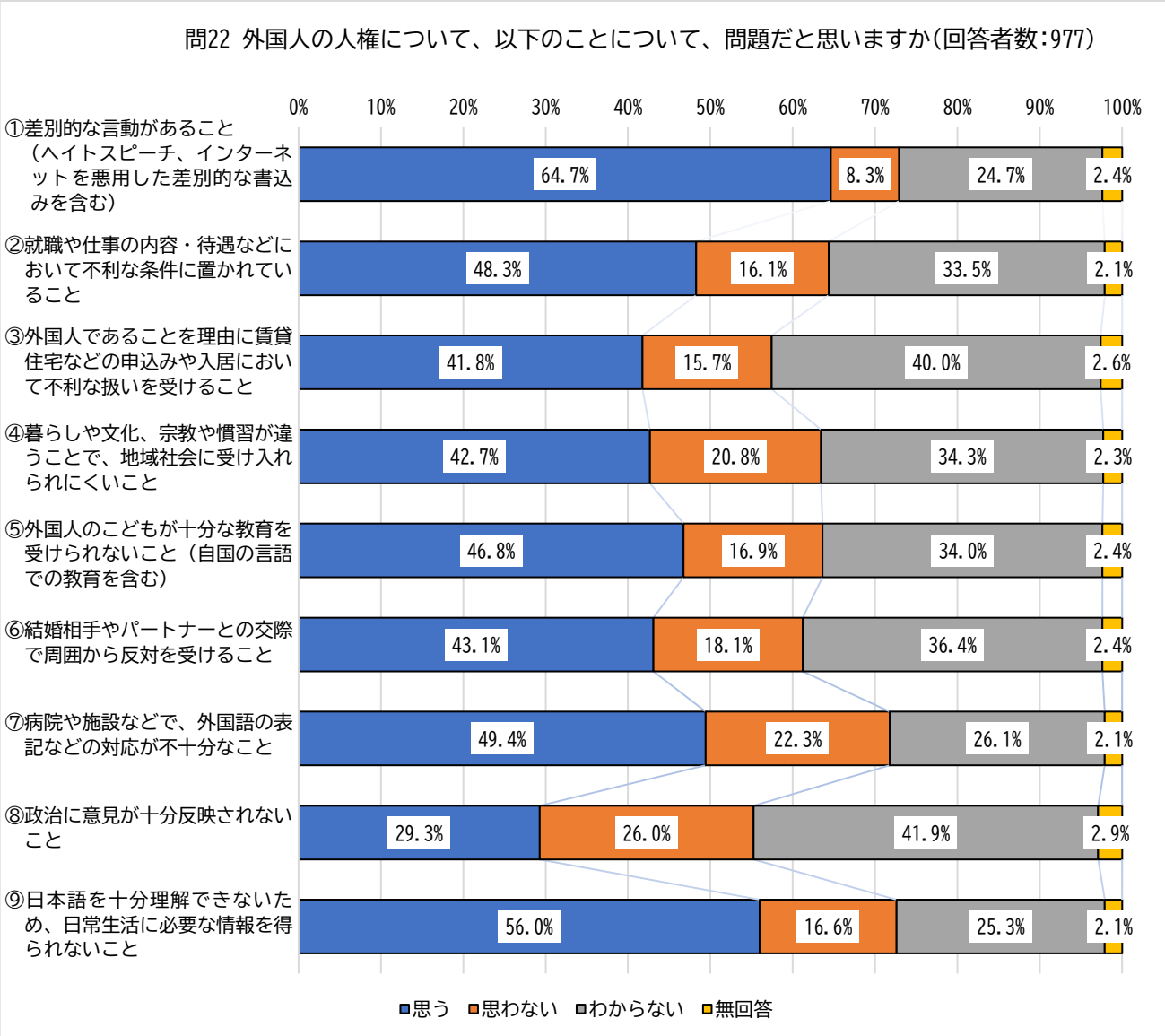
（6）　外国人の人権について

問 22　外国人の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『①差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む）』で 64.7%と最も高く、次いで『⑨日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと』で 56.0%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑧政治に意見が十分反映されないこと』で 26.0%と最も高く、次いで『⑦病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと』で 22.3%となっています。

また、「わからない」の割合が高く、中でも『⑧政治に意見が十分反映されないこと』で 41.9%と最も高くなっています。

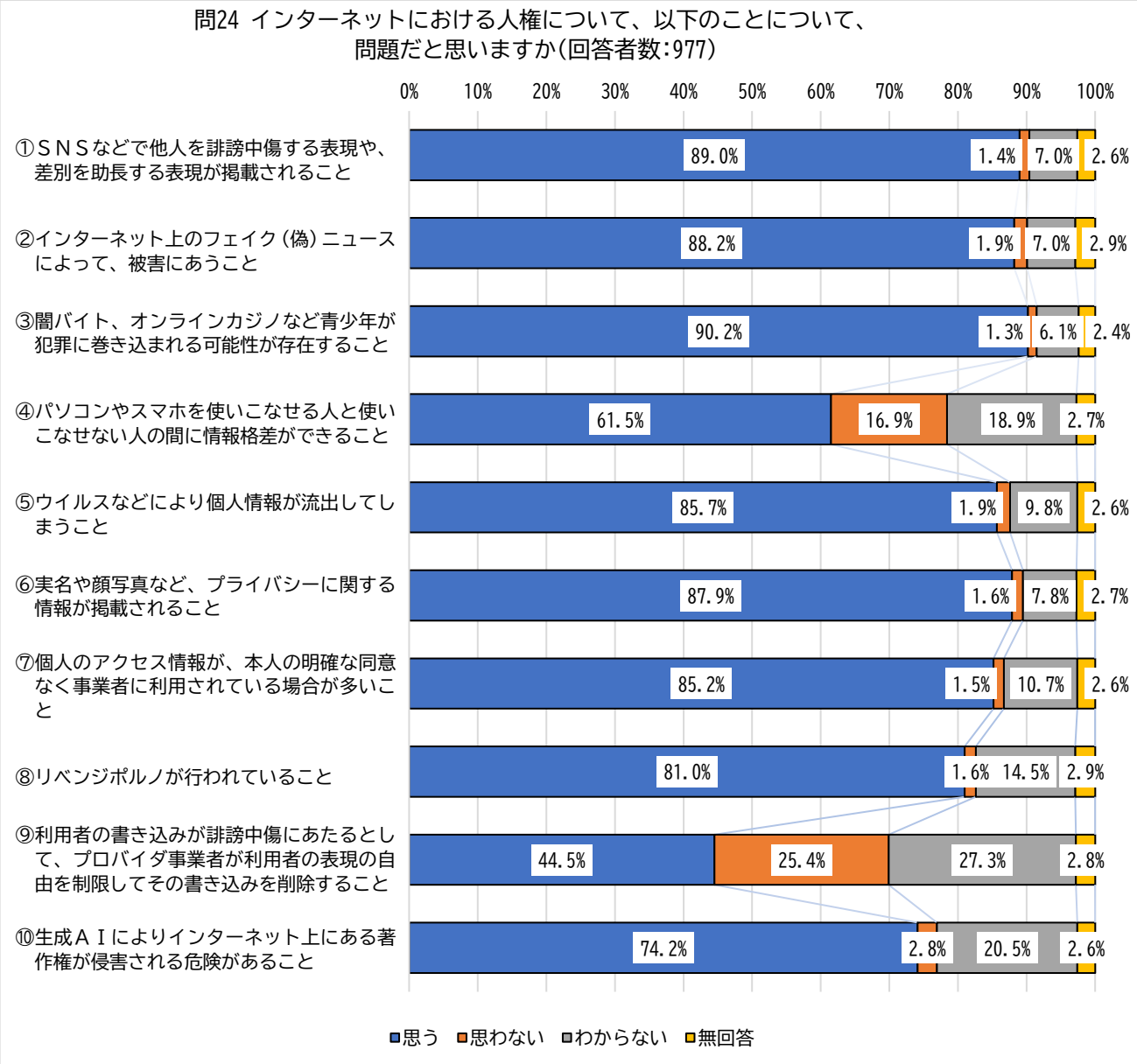


（7）　インターネットにおける人権について

問 24　インターネットにおける人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は『③闇バイト、オンラインカジノなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること』で 90.2%と最も高く、次いで『①SNSなどで他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現が掲載されること』で 89.0%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑨利用者の書き込みが誹謗中傷にあたるとして、プロバイダ事業者が利用者の表現の自由を制限してその書き込みを削除すること』で 25.4%と最も高くなっています。

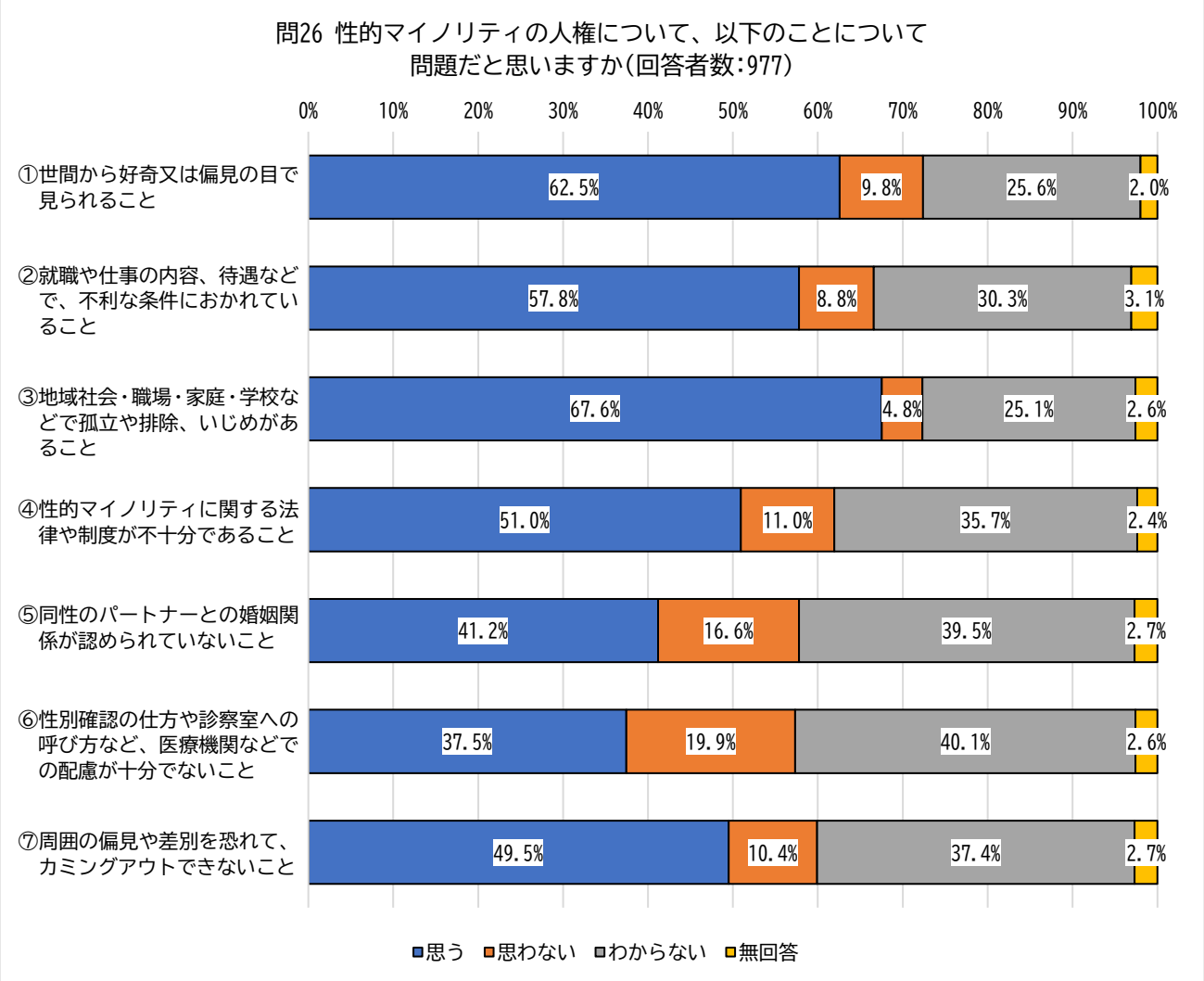


（8）　性的マイノリティの人権について

問 26　性的マイノリティの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること』で 67.6%と最も高く、次いで『①世間から好奇又は偏見の目で見られること』で 62.5%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑥性別確認の仕方や診察室への呼び方など、医療機関などでの配慮が十分でないこと』で 19.9%と最も高く、次いで『⑤同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと』で 16.6%となっています。

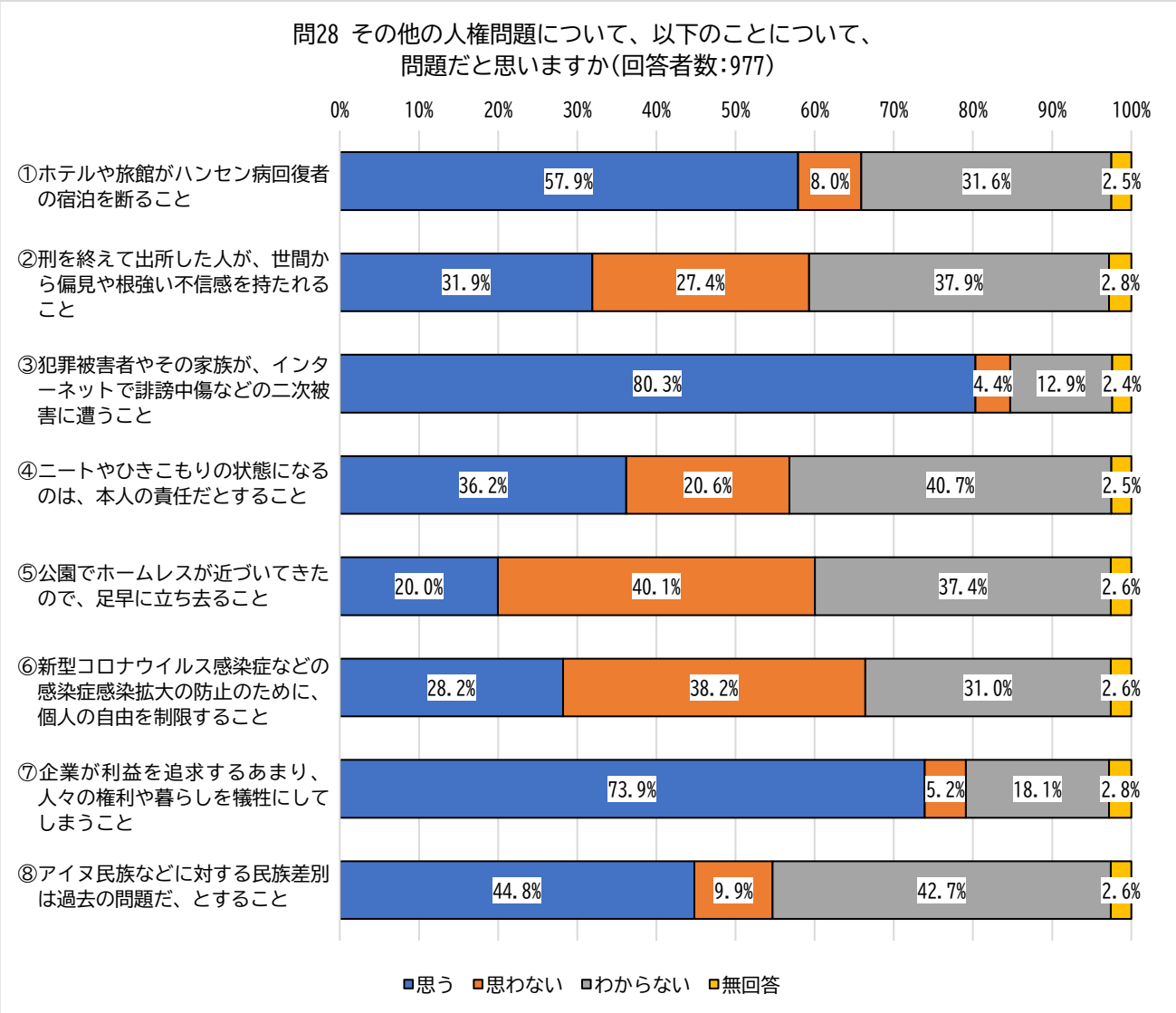


（9）　その他の人権問題について

問 28　その他の人権問題について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

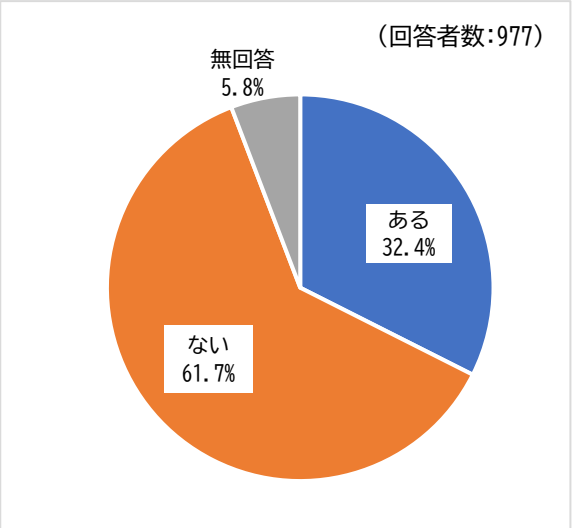
「思う」の割合は、『③犯罪被害者やその家族が、インターネットで誹謗中傷などの二次被害に遭うこと』で 80.3%と最も高く、次いで『⑦企業が利益を追求するあまり、人々の権利や暮らしを犠牲にしてしまうこと』で 73.9%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑤公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去ること』で 40.1%と最も高く、次いで『⑥新型コロナウイルス感染症などの感染症感染拡大の防止のために、個人の自由を制限すること』で 38.2%となっています。



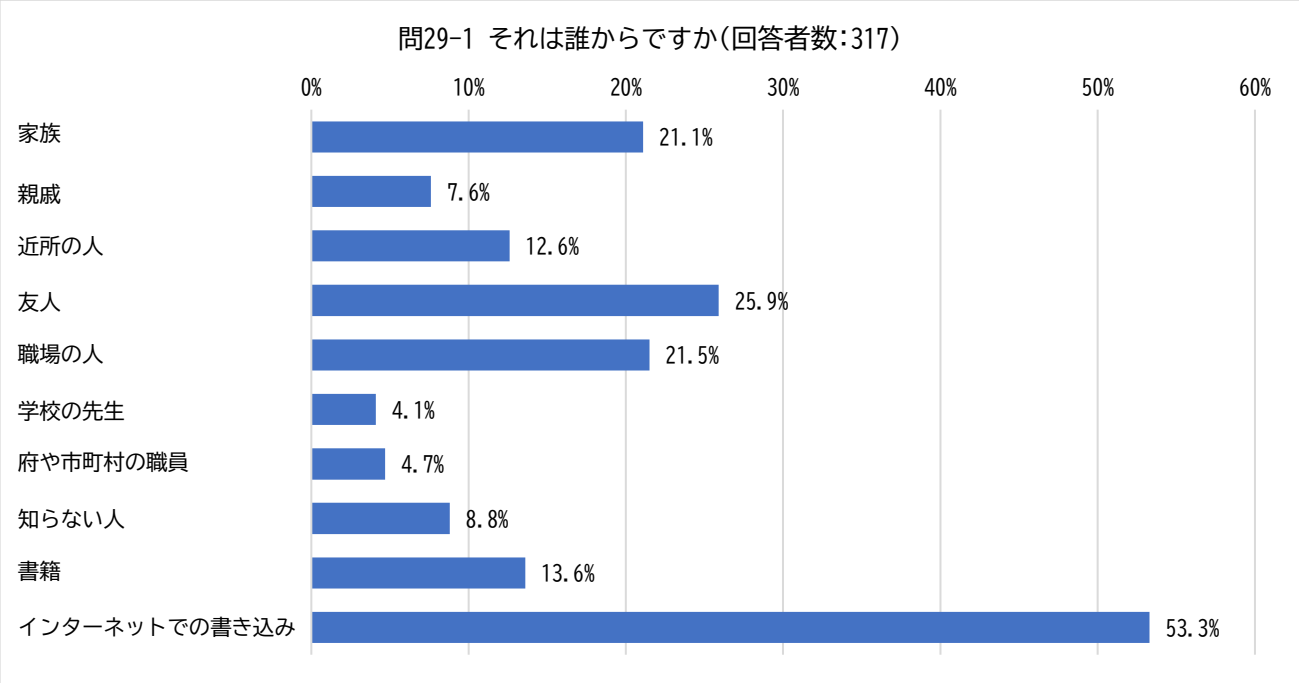
問 29　あなたは、貧困や差別の是正や、平等を実現するための特別な措置がやりすぎである、または、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

「ある」の割合が 32.4%、「ない」の割合が 61.7%となっています。



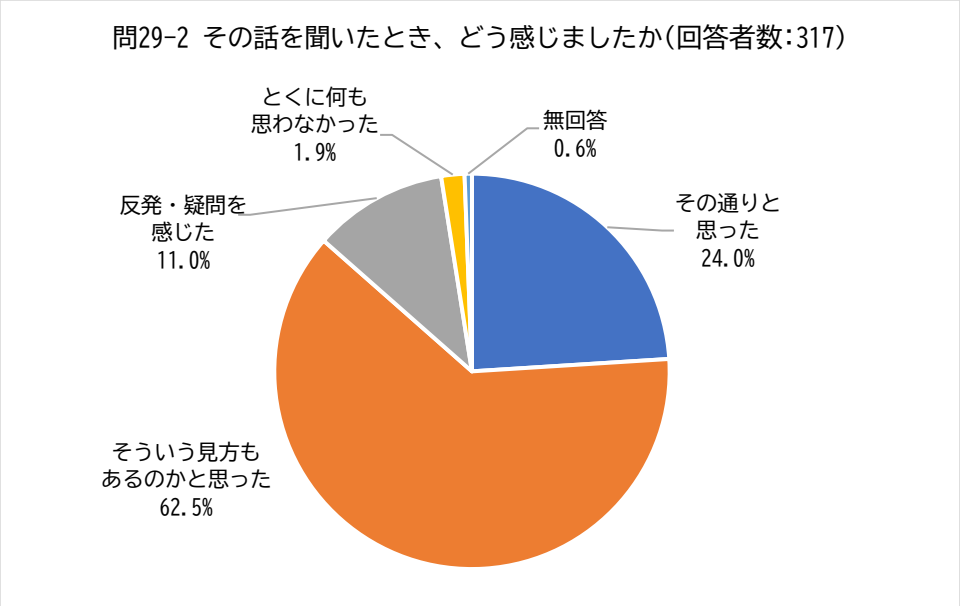
問 29 で「1　ある」と答えた方にお聞きします。
問 29－1 それは誰からですか。（○はいくつでも）

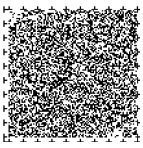
「インターネット（SNSなどを含む）での書き込み」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が 25.9%、「職場の人」の割合が 21.5%となっています。



問 29－2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。（あてはまるもの1つに○）

「そういう見方もあるのかと思った」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「その通りと思った」の割合が 24.0%、「反発・疑問を感じた」の割合が 11.0%となっています。





茨木市　人権問題に関する市民意識調査
報告書
【概要版】

令和8年3月
発行：茨木市　市民文化部　人権･男女共生課
〒567-8505　大阪府茨木市駅前三丁目８番13号
電　話：072-620-1640
ＦＡＸ：072-620-1725
Ｅメール：jinken@city.ibaraki.lg.jp

